



# 令和 6 年度当初予算案

---

令和 6 年 2 月 1 4 日 (水)

知事記者会見資料

- 「府政運営の基本方針」
- 当初予算案の概要
- 政策創造の方向性（重点分野）

# 府政運営の基本方針

2030

次代をリードする大阪づくり

未来社会を先導する大阪へ  
世界の課題解決に貢献し、

2025

大阪・関西万博の成功

いのち輝く未来社会のデザイン

2024

万博成功に向けた総仕上げ

万博

## 開催に向けた準備

成長

## 成長戦略の実行

- ・新たな成長産業の創出
- ・都市魅力の創出・発信
- ・都市基盤の整備
- ・人材確保

未来への投資

## 次世代育成

- ・高校・大学等授業料等完全無償化

安全・安心

## 府民の暮らし

- ・物価高への対策など

## 災害対応力の強化

- ・地震・津波対策など

成長

## 成長戦略の実行

- ・次世代産業の産業化
- ・都市格の向上によるイグワイドの増加
- ・世界に誇れる都市空間の創出

## 新たな成長エンジン

- ・IR、国際金融都市の実現

未来への投資

## 成長を支える人材育成

- ・高校・大学等授業料等完全無償化の実現
- ・高度人材の育成
- ・外国人材の活用

安全・安心

## 府民生活の豊かさの向上

- ・スマートビリティ・DXを活用したQOL向上

## 災害対応力の強化

- ・危機事象（地震・津波・感染症等）対応

〜2023

## 財政再建

- ・減債基金の復元完了

## 府市連携

- ・府市一体条例など

## 新型コロナ

- ・一般疾病に移行

成長への布石・未来への投資  
(次なるステージへの飛躍に向けたチャレンジ) (授業料等の完全無償化)

万博のレガシーを継承した成長・発展  
(未来社会の実験場の具体化)

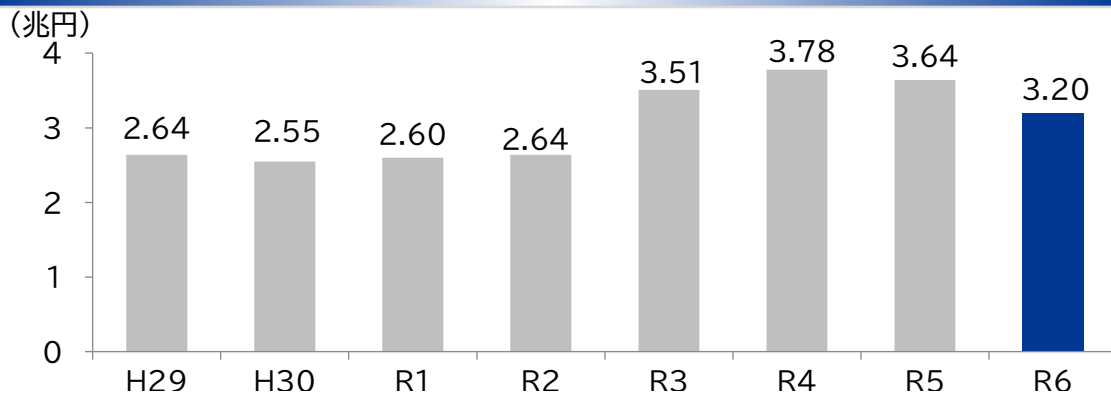
# 令和6年度当初予算額

- 府の財政は、景気の緩やかな回復を背景に府税収入が堅調に推移するものの、社会保障関係経費の増大など、今後も収支不足が生じる見込み。また、物価上昇や賃上げ等が及ぼす影響や、海外経済等の動向による景気の下振れリスクがあり、依然として楽観できない状況
- このため、引き続き財政規律を堅持しつつ、万博の開催に向けた取組みや次世代への投資、万博のインパクトを活かした大阪の持続的な成長に向けた取組みに重点化

当初予算	令和5年度	令和6年度	増減額	前年度比
一般会計	3兆 6,421 億円	3兆 1,972 億円	▲ 4,449 億円	▲ 12.2%
特別会計	3兆 824 億円	2兆 8,903 億円	▲ 1,921 億円	▲ 6.2%

※ 各表において、端数処理のため計と内訳が一致しない場合がある

## 当初予算額（一般会計）の推移



※当初予算額（一般会計）は地方消費税清算後ベース

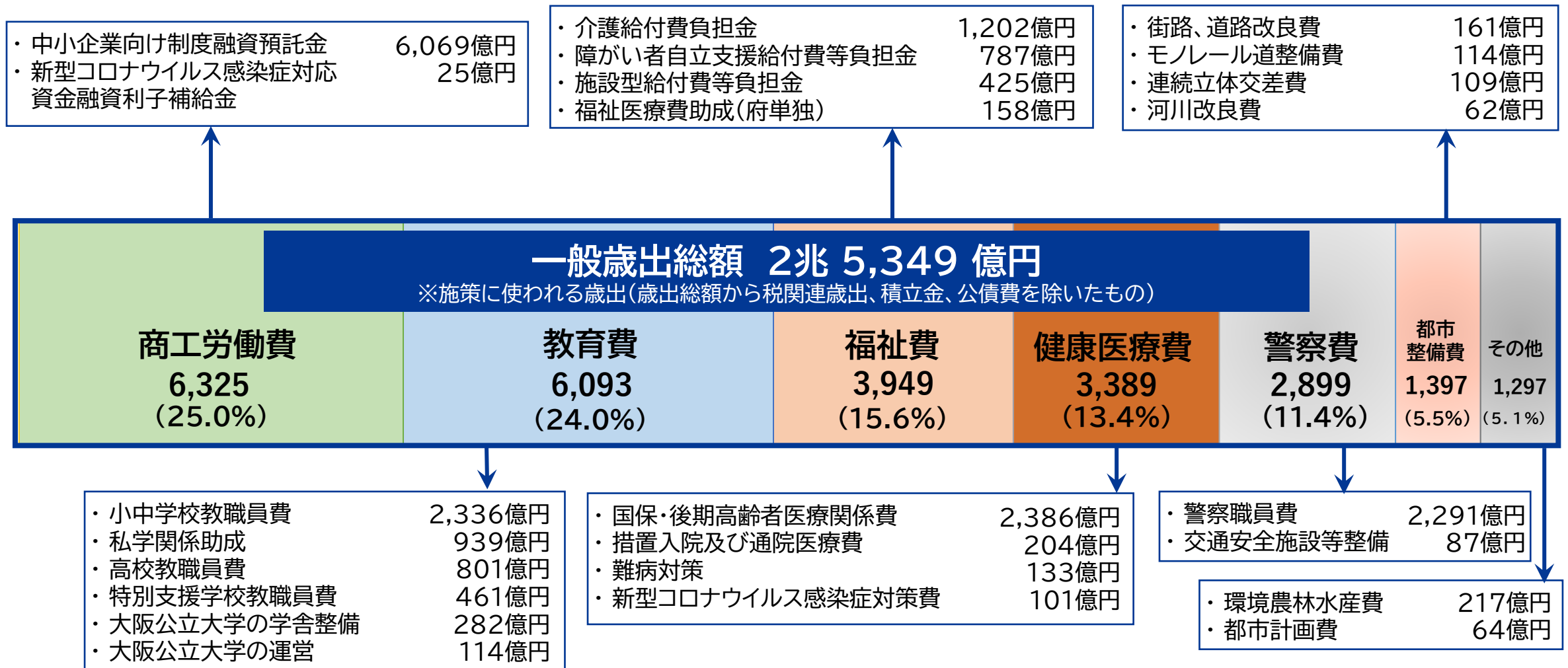
## 主な増減要因(一般会計)

□ 新型コロナウイルス感染症対策費	▲ 3,541億円
□ 中小企業向け制度融資に係る預託金	▲ 1,268億円
□ 社会保障関係経費	+ 262億円

## 主な増減要因(特別会計)

□ 公債管理特別会計及び大阪府営住宅事業特別会計（元金償還等の減）	▲ 1,508億円
-----------------------------------	-----------

# 一般歳出の内訳

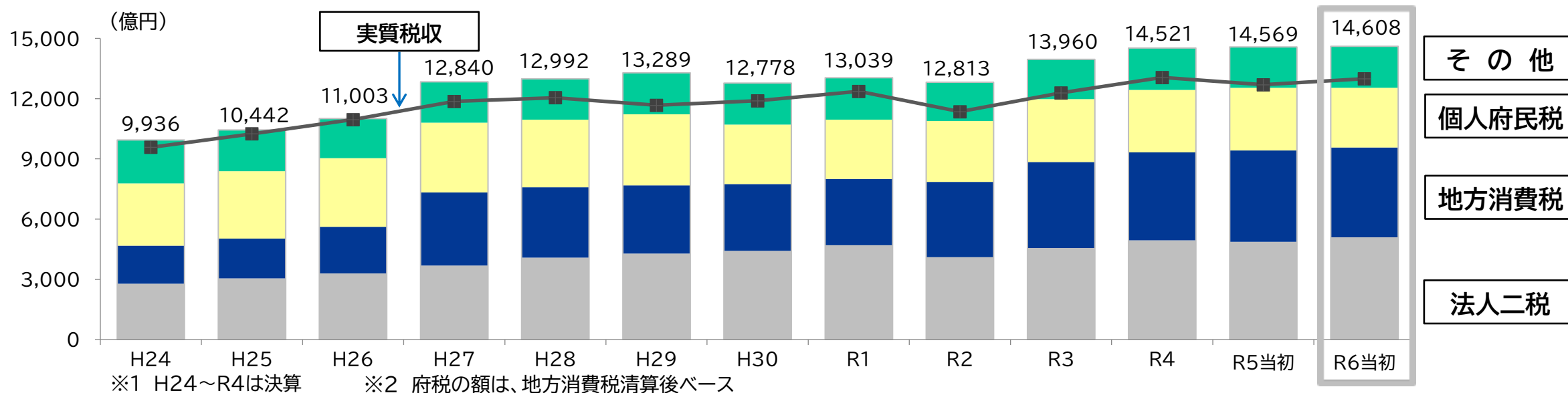


# 府税収入の動向

- 定額減税の実施による個人府民税の減収や輸入金額の減少による地方消費税の減収がある一方、経済活動の回復に伴う人流の回復による企業収益の押し上げで法人二税が増収となることから、全体では増加

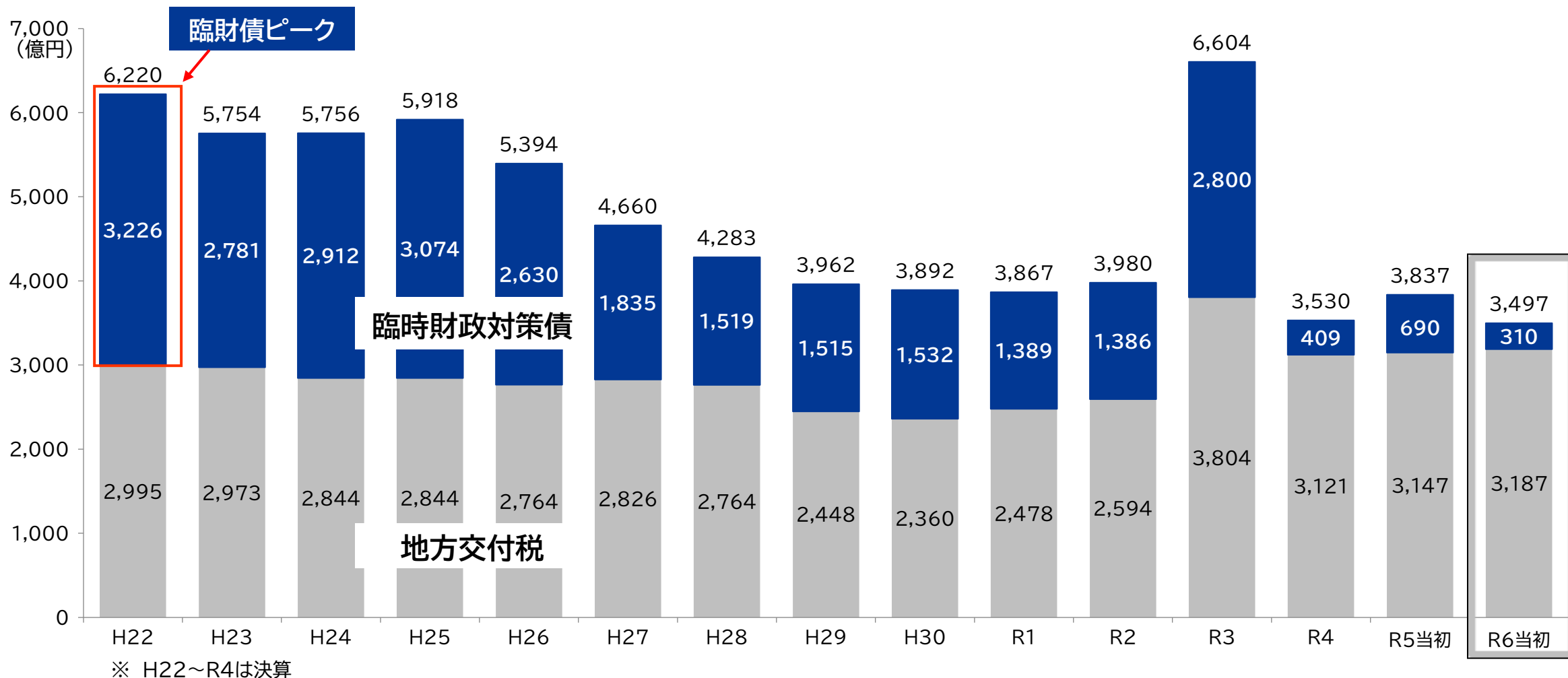
	R4決算	R5当初	R6当初	増減
府 税	1兆 4,521 億円	1兆 4,569 億円	1兆 4,608 億円	+ 39 億円
実質収収	1兆 3,052 億円	1兆 2,692 億円	1兆 2,990 億円	+ 298 億円 (+2.3%)

※ 実質収収は、(府税+譲与税+精算金収入)-(税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等)



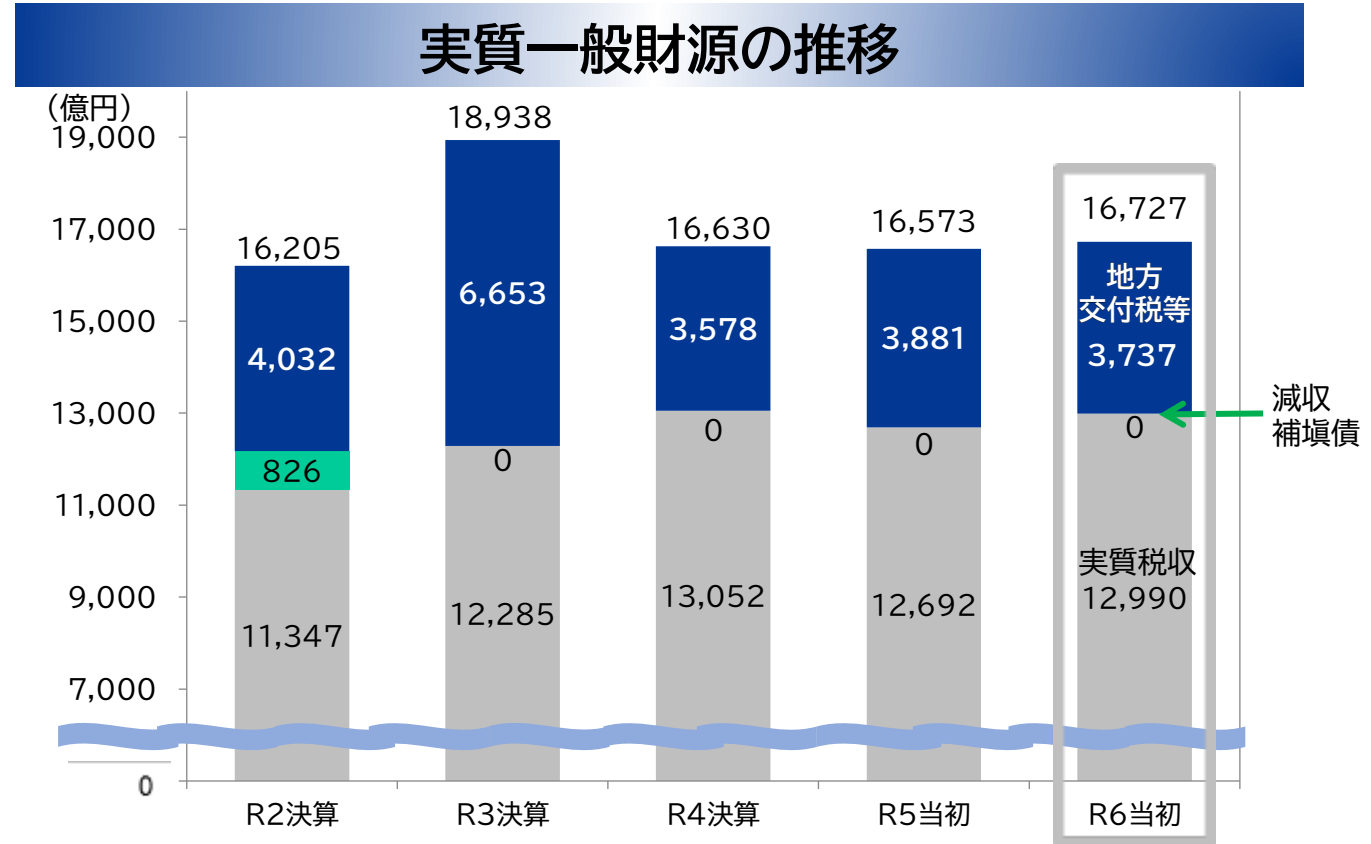
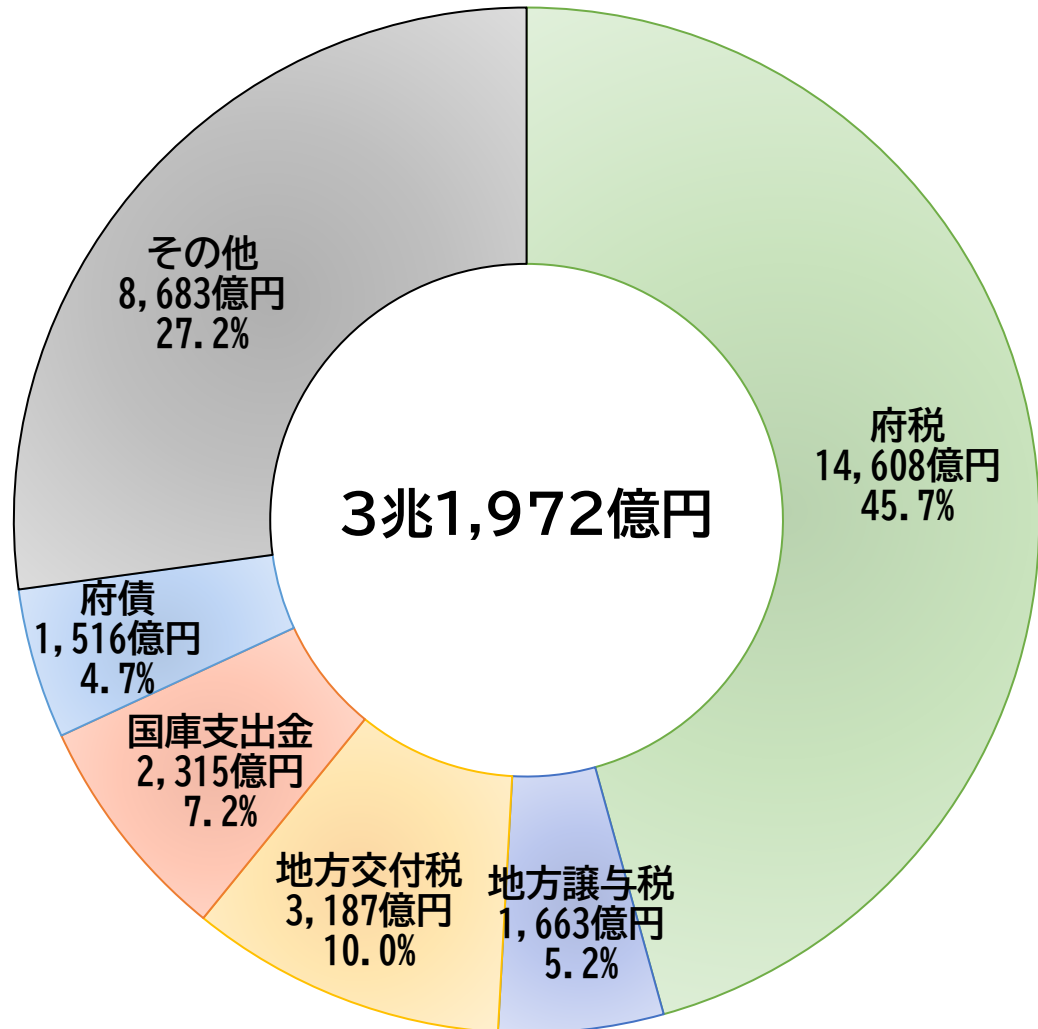
# 地方交付税及び臨時財政対策債の状況

● 府税収入の増加により、地方交付税・臨時財政対策債の総額は減少



# 歳入の内訳

- 実質税収の増加の影響により、実質一般財源（実質税収＋地方交付税等＋減収補填債）は増加

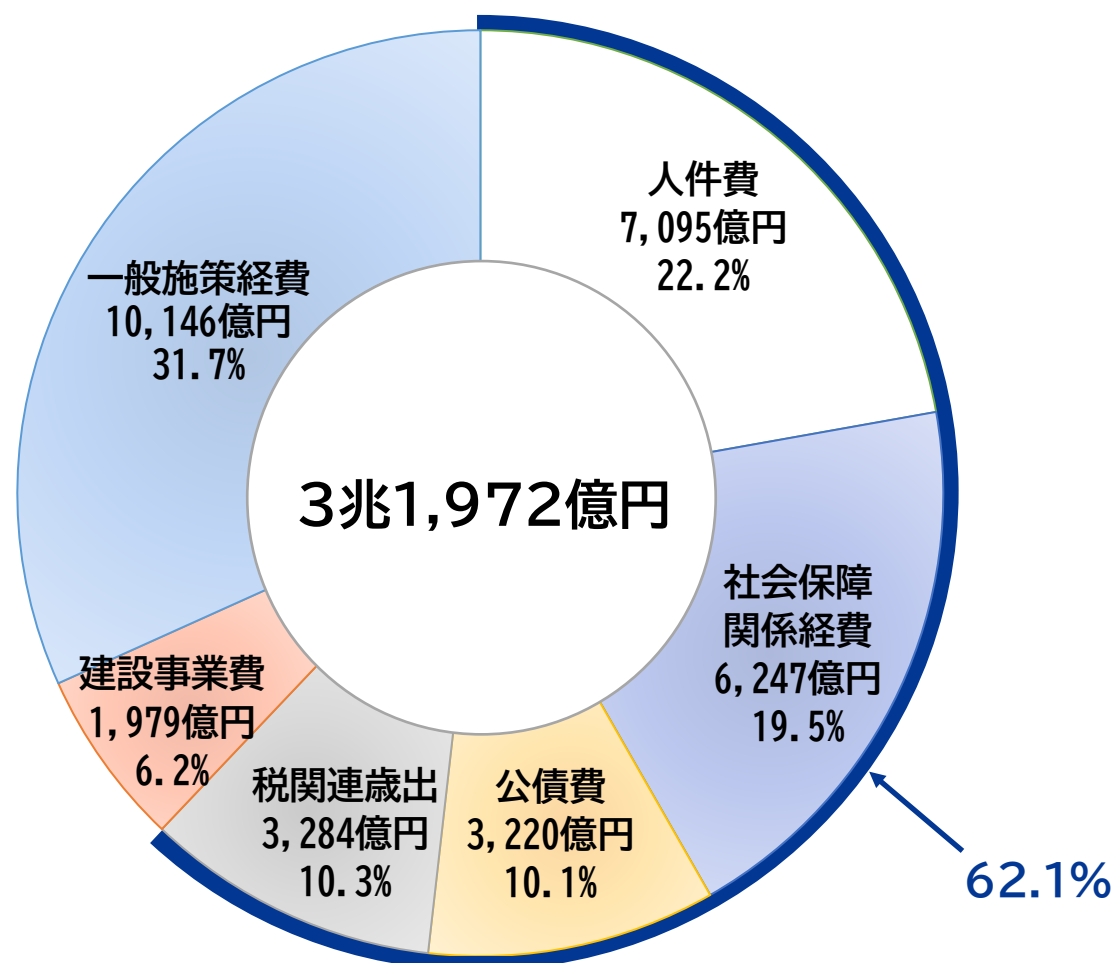


実質税収: (府税＋譲与税＋精算金収入)－(税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等)  
 地方交付税等: 地方交付税＋臨時財政対策債＋地方特例交付金

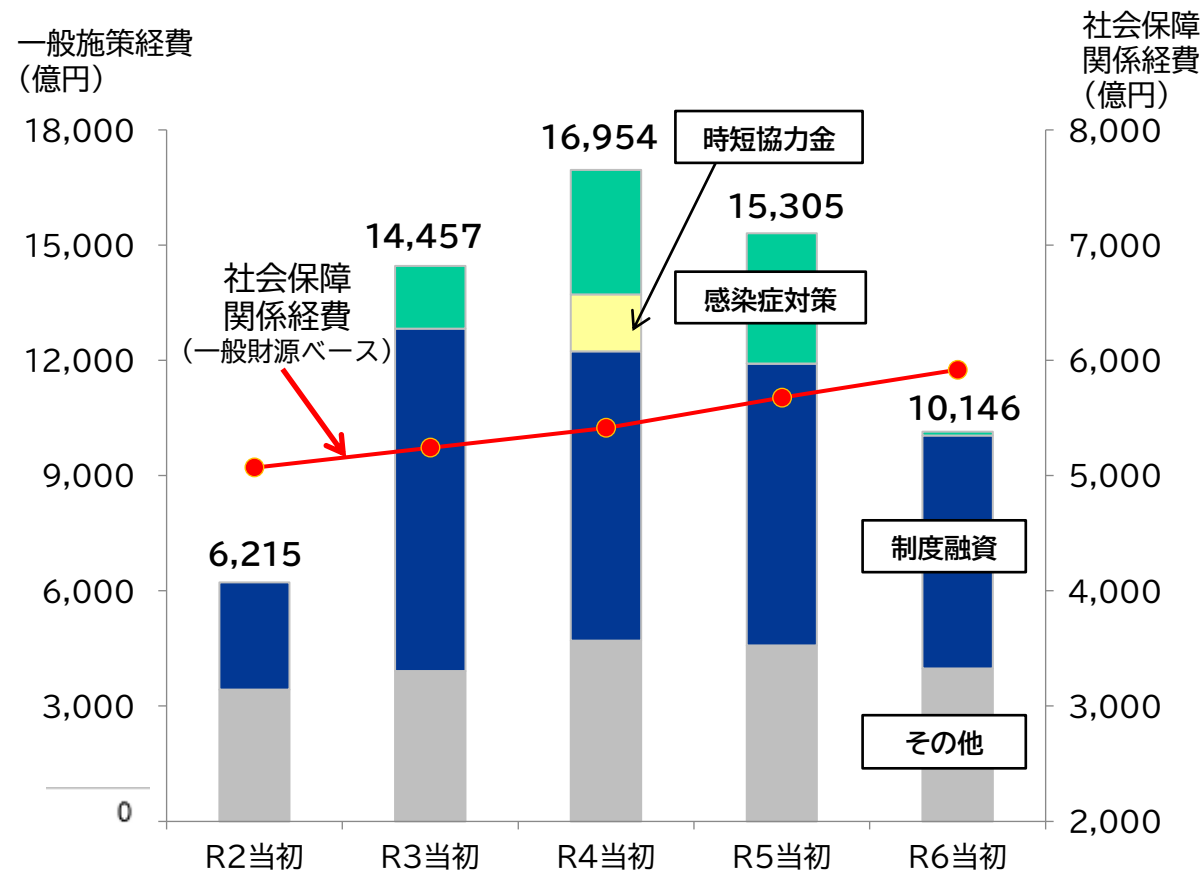


# 歳出（性質別）の内訳

- 義務的経費(人件費、社会保障関係経費、公債費)及び税関連歳出が歳出の6割以上を占める状況
- 新型コロナウイルス感染症対策費の縮減により一般施策経費は減少する一方、後期高齢者医療費や介護給付費などの増により、社会保障関係経費が増加

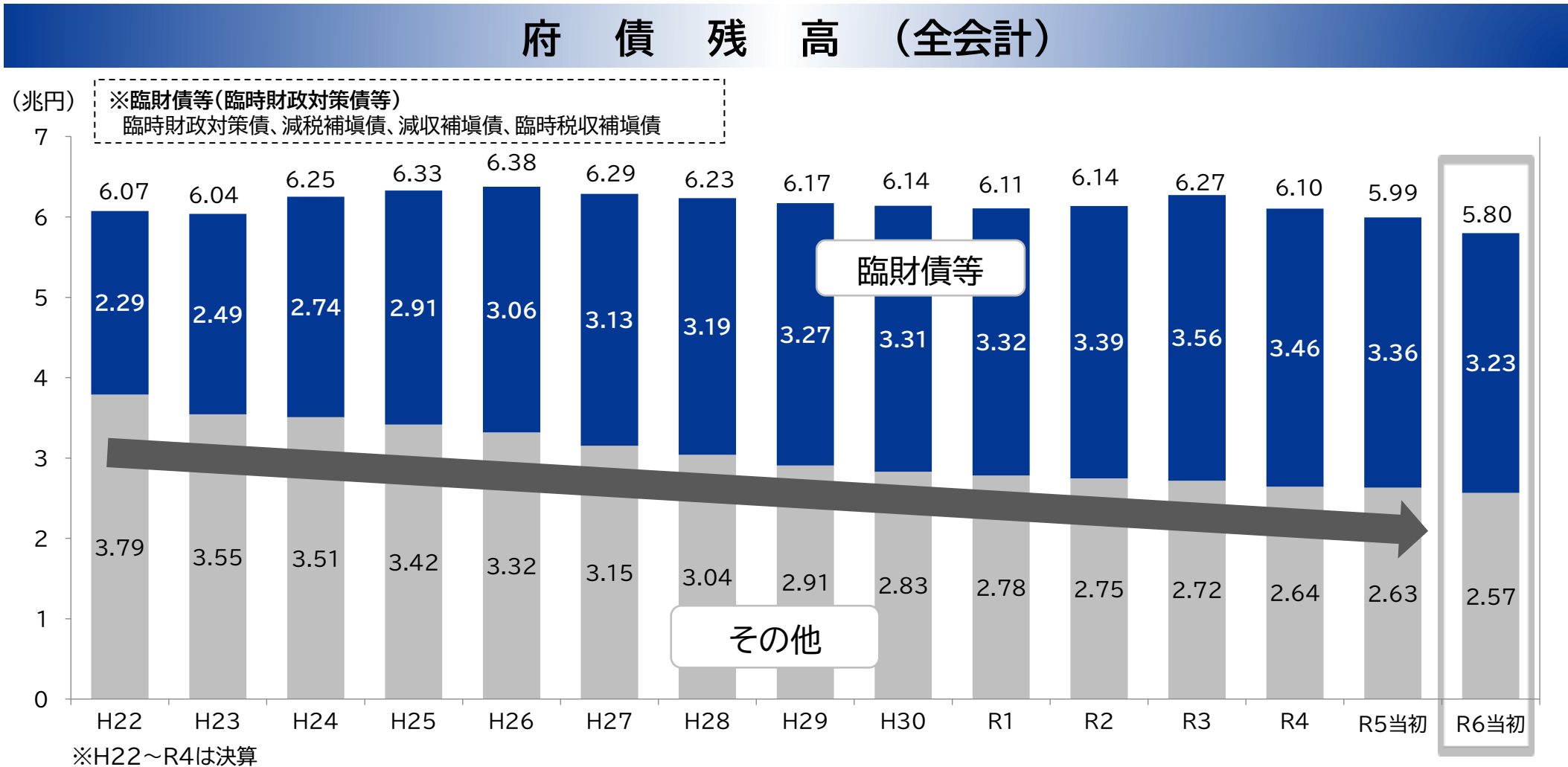


## 一般施策経費及び社会保障関係経費の推移



# 府債の動向

- 府債残高（全会計）は前年度と比べ減少
- 臨財債等を除く府債残高は、平成19年度以降減少

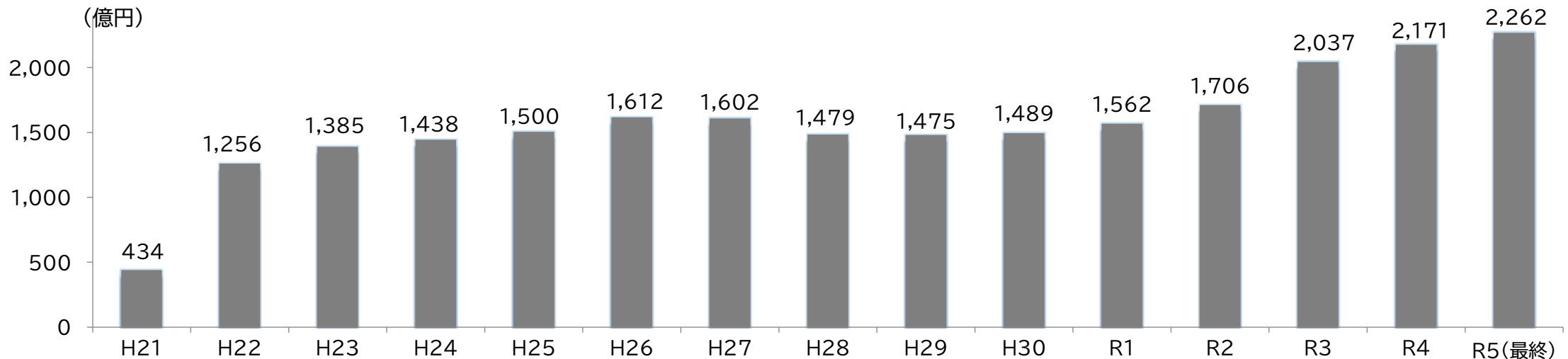


# 財政調整基金の状況

- 残高は年々増加傾向にあるものの、令和6年度も厳しい財政状況の中、財源対策のために取崩しが発生



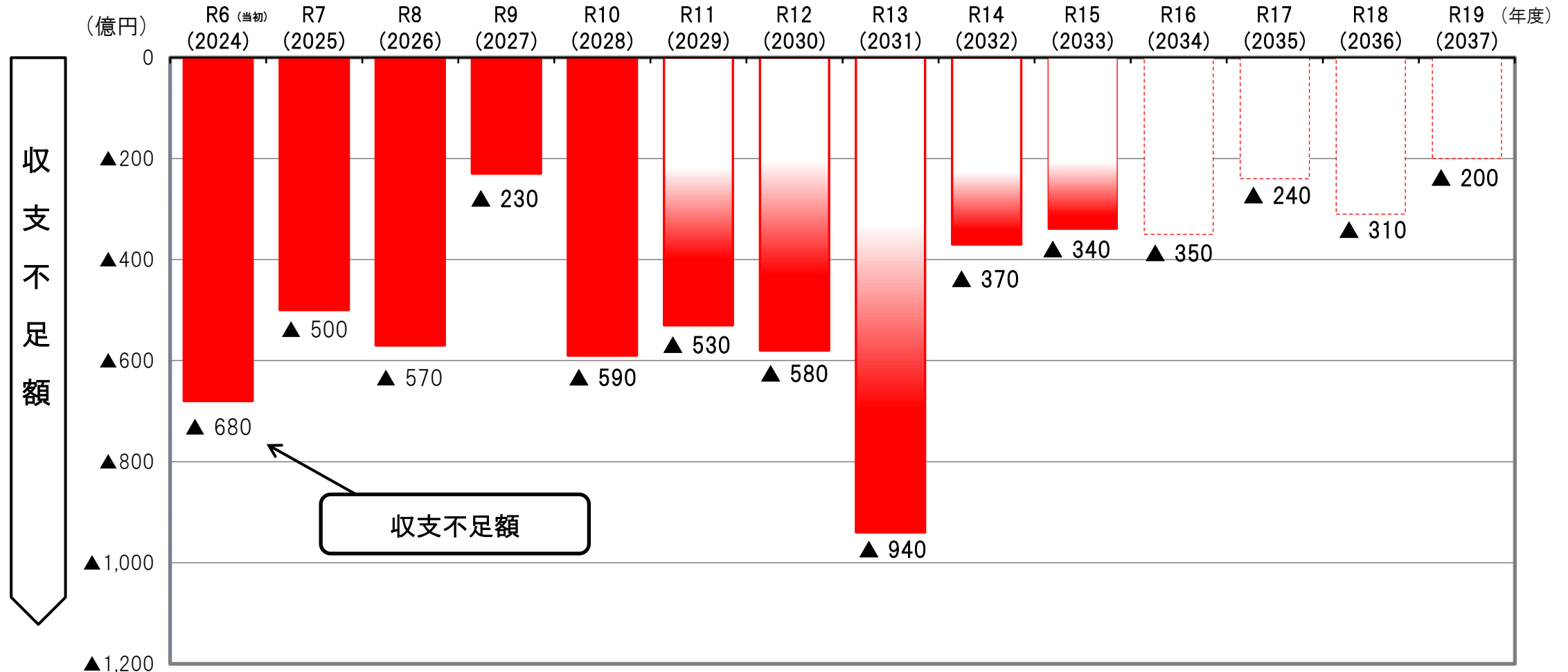
## 財政調整基金残高(年度末)の推移



※1 H21～R4は決算 ※2 地方交付税算定における精算制度等への対応のための一時的な積立分を含まない

# 中長期試算（粗い試算）【令和6年2月版】

● 足下では税収見込みの増加が見られるものの、依然として多額の収支不足が継続



内閣府試算の経済成長率・長期金利や歳入・歳出の状況など、現時点で見込むことができる条件を前提に推計  
この試算は不確定要素を多く含んでおり、将来に向かって相当の幅をもってみる必要

# 減債基金の復元完了【令和5年度末】

- 財源不足を補うために行っていた減債基金からの借り入れは、平成20年度から中止
- そのうえで、平成20年度以降、かつてないスピードで改革の取組みを推進、  
借り入れた5,202億円の計画的な復元を着実に実施し、**令和5年度末に復元が完了する見込み**
- 決算剰余金の取り扱いを変更するため、財政運営基本条例の一部改正を予定

## 財政運営基本条例

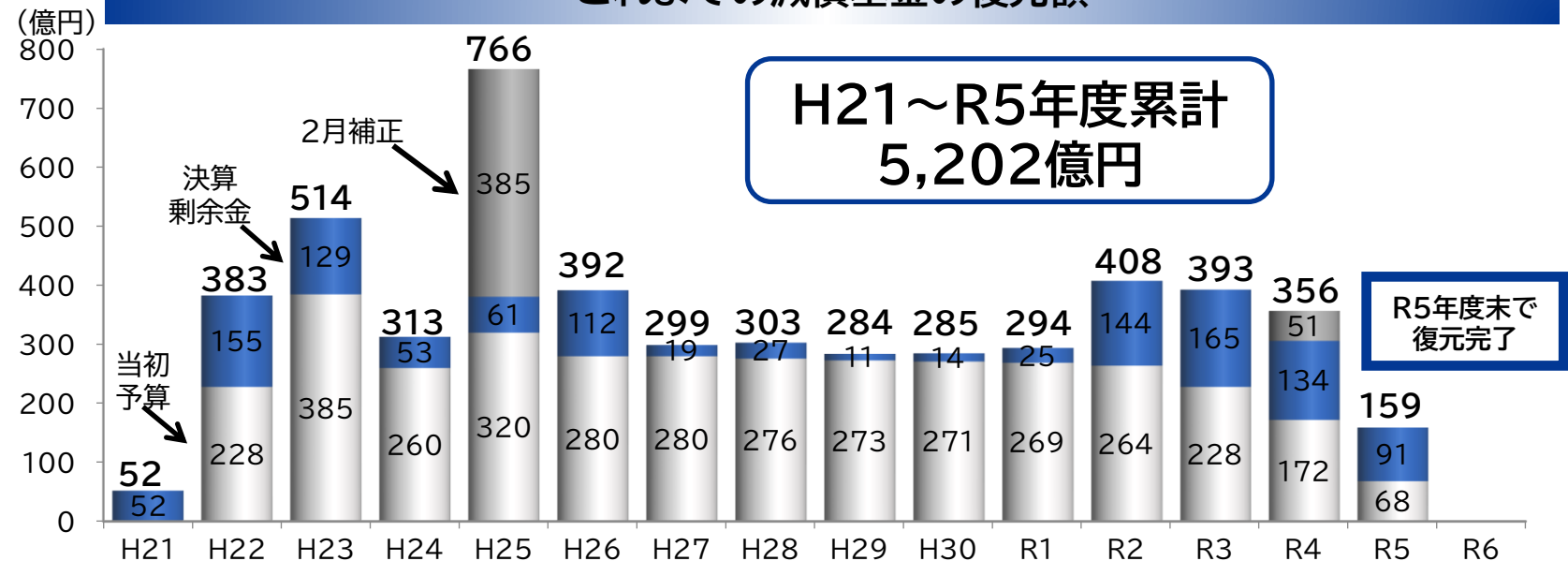
第20条 各会計年度において一般会計の歳入歳出の決算上剰余金を生じた場合においては、当該年度の翌年度までに、まず当該剰余金のうち二分の一の金額(略)を減債基金に編入し、その残余を財政調整基金に編入するものとする。

→減債基金の復元完了により、1/2編入規定の目的を達成するため、決算剰余金の編入先を財政調整基金に一本化

減債基金  
借入累計額  
5,202億円

H13~19

H20  
借入  
ストップ



※ 端数処理のため計と内訳が一致しない場合がある

# 政策創造の方向性（重点分野）

## ➤ 2025年日本国際博覧会に向けた開催準備

## ➤ 万博をインパクトにした大阪の成長・都市格の向上

- (1) 成長産業の創出・育成
- (2) 人材育成・次世代への投資
- (3) 都市の魅力発信
- (4) 成長を支える基盤整備
- (5) IRの開業、国際金融都市の推進、副首都・大阪の実現

## ➤ 安全・安心で豊かなくらしの実現

- (1) 災害対応力の強化
- (2) 府民のいのち・健康を守る取組み
- (3) くらしの向上に向けた取組み
- (4) 子どもたちの成長と学びを支える取組み

# 2025年日本国際博覧会に向けた開催準備

## 取組の方向性

- ◆ 大阪・関西万博の開幕まで約1年に迫り、会場整備やパビリオン建設、交通アクセス、さらには、ボランティアの募集、警備・医療体制の強化など、約2,800万人の来訪者を受け入れる環境整備等を着実に実施
- ◆ また、万博来場意欲度の減少を受け、万博の意義・効果の発信に加え、未来社会を体感できるパビリオンのPR等を通して万博への機運醸成を強力に推進

### 会場整備等

- 会場建設  
(大屋根、催事場、海外パビリオン等)
- 大阪ヘルスケアパビリオン  
(iPS細胞による生きる心臓モデル等)
- 交通アクセス  
(夢洲駅の改札機増設等、一般交通への働きかけTDM等)

### 参加促進・機運醸成

- 万博への子どもたちの招待
- ボランティアの募集・研修
- 「(仮称)大阪ウィーク」の実施準備
- 機運醸成イベントの開催

### 受入環境の整備

- 警備体制の強化  
(会場警察隊(仮称)の設置等)
- 交通環境の整備等  
(路面標示等の補修、ライドシェア等)
- 医療・衛生体制の整備  
(外国語通訳コールセンターの設置、食物アレルギーを表示するピクトグラム等)



© Expo 2025

「行ってみたい」と思える万博、「ワクワクする」万博の開催



# 2025年日本国際博覧会に向けた開催準備

## 万博に向けた開催準備

### ● 会場建設費〔26,965.5百万円〕

博覧会協会が行う会場整備（パビリオン等建設、基盤インフラ等整備等）に対し一部負担

（整備状況）

※国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担

大屋根（リング）…2023年6月～組み立て開始

主要施設（大・小催事場、迎賓館等）…着工済

海外パビリオン…「タイプA」は約35か国で施工事業者決定、「タイプB・C」は7月までに工事完了予定

### ● 交通アクセスに関する取組み〔645.5百万円〕

● 大阪メトロ中央線輸送力増強 | 夢洲駅の改札機等の増設、車両置き場増設のための施設整備 等

● 一般交通への働きかけTDM | 万博期間中の一般交通の分散・平準化を目的とする、時差出勤や

※TDM=交通需要マネジメント

テレワーク等の働きかけ

（2024年9～10月 試行実施、12月 府民等へ働きかけ開始）

### ● 大阪ヘルスケアパビリオン建設等〔4,008.7百万円〕

万博の地元自治体として、ライフサイエンス分野の研究機関や企業等が集積する大阪・関西の特徴・強みなども活かし、大阪のポテンシャルの世界的なアピールや魅力発信につなげるための取組み

● 建築工事 | 2024年10月 工事完了予定

● iPS細胞による生きる心臓モデル | 展示コンテンツの製作・設置工事等



提供：2025年日本国際博覧会協会



提供：(公社)大阪パビリオン



## 万博への参加促進（1/2）

新規

### ● 万博への大阪の子どもたちの招待〔397.3百万円〕

次代を担う子どもたちに、150を超える国々の英知が結集された最新技術やサービス等に直接触れる体験を重ね、将来に向けて夢と希望をたくさん感じとってもらうため、大阪の子どもたち（入場料が必要となる4歳以上の子ども）に万博への来場機会を提供

#### ● 府内の小・中・高校生等の招待

学校教育活動の一環として、学校単位で1回招待するためのコールセンターの設置・観光バスの調達 等

#### ● 府内在住の4・5歳児等の招待

各家庭等からの申請に基づき入場券を1枚配付するためのシステム構築・コールセンターの設置 等

### ● 「大阪・関西万博ボランティア」の募集・研修〔362.9百万円〕

万博会期中に、大阪・関西及び会場を訪れる人たちをもてなし、大阪の魅力を国内外に発信するボランティアを募集するとともに、活動開始に向けた研修等を実施

（ボランティア募集 概要）

募集期間 | 2024年1月26日～4月30日

活動内容 | 万博会場での案内や、主要駅・空港等での万博情報、交通・観光情報の案内、  
大阪ヘルスケアパビリオンでの来館者サポート等

募集人数 | 約2万人（万博ボランティア全体）



### ボランティア募集

応募期間  
2024年1月26日(金)～4月30日(火)

## 万博への参加促進（2/2）

### ● 会場内催事「(仮称)大阪ウィーク」の実施準備

大阪府・市を中心に府内すべての市町村が連携し、会期中の春（5月）・夏（7～8月）・秋（9月）の3期にわたり、世界に向けて大阪の魅力や特色を発信する「(仮称)大阪ウィーク」の実施に向けた準備を本格化

- 「(仮称)大阪ウィーク」開催準備〔149.2百万円〕  
各期の目玉となるイベントの準備、広報・プロモーション等の実施
- 健康寿命延伸に向けた取組み〔65.0百万円〕 **新規**  
府民の健康づくり（健活10等）の機運醸成に向けたコンテンツ制作、プロモーション等の実施
- 大阪産(もん)の活用拡大支援〔27.4百万円〕 **新規**  
大阪産とその産地をPRするコンテンツの企画・制作等の準備
- 障がい者舞台芸術・アートの発信〔56.1百万円〕  
障がいのある人、ない人が混在するチームによる演劇やダンスの発表、アート作品等の展示

### ● 万博商談もずやんモール〔95.8百万円〕

万博に関連するさまざまな需要や調達について、地元大阪の事業者の受注につなげるため、府内中小企業の商品・サービス・技術情報を発注者側に提供する「万博商談もずやんモール」を運用（2023年6月～）

・ 発注側登録件数 | 754者 ・ 発注登録件数（累計） | 78件（登録状況 2024年2月9日現在）

### ● 事業者による万博の脱炭素化の推進〔25.0百万円〕

事業者における脱炭素化経営の促進のため、府内事業者のCO<sub>2</sub>削減の取組みを府が一括申請してクレジット化し、ゼロカーボンをめざす万博へ寄与するスキームを構築、2024年度は参加事業者のCO<sub>2</sub>削減量のモニタリング等を実施

# 2025年日本国際博覧会に向けた開催準備

## 万博開催に向けた機運醸成（1/2）

### ● 全国に向けた取組み〔418.0百万円〕

万博への理解促進や期待感の向上に向けた取組みを実施

#### ● 開催に向けた進捗状況等の発信

大屋根（リング）等会場整備の進捗状況などの具体的な動きやパビリオンの内容の発信

#### ● 節目を捉えた集中的なPR

開幕1年前(4月)や来場予約・パビリオン予約開始(10月頃)などの節目を捉え大規模集客イベント等を開催

#### ● 開催都市としての万博PR

民間企業や市町村等のイベント主催者と連携した万博PRやシティドレッシングの実施等

#### ● 若年層を中心とした万博の発信強化

SNS等を活用したプロモーション展開や高校生向けEXPO教育プログラムの活用促進

「バーチャル大阪」を活用し、実業系高校が開発した商品の発信や小中高生のアバター参加による意見交換等を実施

### ● 子育て世帯等を対象とした取組み〔25.8百万円〕

新規

大阪を訪れる子どもや子育て世帯が万博会場を含む府内各地を移動・外出しやすい社会づくりのための機運醸成につながる動画の作成など広報・啓発活動を実施

### ● 若者（高校生）を対象とした取組み〔8.1百万円〕

新規

万博を契機に、国際交流を通じて、若者の国際感覚を醸成するとともに、交流の裾野を広げるため、高校生を対象に、在関西総領事館や友好交流先等と連携し、各国の最新事情や、社会課題をテーマにした交流、体験型のプログラムを実施



2023年度実績  
開幕500日前イベント



シティドレッシング

## 万博開催に向けた機運醸成（2/2）

### ● 万博と関連したイベントの実施

#### 文化

- ナイトカルチャーの魅力創出〔75.9百万円〕 **新規**  
万博開催期間中の御堂筋イルミネーションの点灯（4～10月）に向けた準備
- ヨット・クラシックカーのイベント〔10.3百万円〕 **新規**  
万博会場周辺で、関西各地から集合したヨットのパレードや、クラシックカーのイベントを行うため、事業者公募等の準備を開始



クラシックカーイベント（イメージ）

#### 健康

- アスマイルを活用した万博機運醸成キャンペーンの実施〔37.5百万円〕 **新規**  
万博の機運醸成と府民の健康づくり推進を連携させ、アスマイルのキャンペーンにて、入場券相当の「ミyakポ！」を提供
- ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会〔62.7百万円〕  
「いのち輝くミライ食育」をテーマに、健康寿命延伸に向けた食育の推進と、大阪の魅力である食文化の発信の場として食育推進全国大会を開催



#### 女性

- OSAKA女性活躍推進 ドーンdeキラリ フェスティバル 2024 with万博〔5.9百万円〕  
ドーンセンターにおいて女性活躍推進と万博の機運醸成のためのイベントを開催



#### 市町村

- 市町村のイベント支援〔42.6百万円〕  
市町村主催イベント等における万博関連ブース出展やPRグッズ配布などに要する費用を補助（補助上限 50万円・補助率1/2以内）



# 2025年日本国際博覧会に向けた開催準備

## 受入環境の整備

### ● 警備体制の強化（会場警備体制の整備、会場周辺・主要エリア等の安全対策）〔644.0百万円〕

- 来場者の安全確保に向けた会場警察隊（仮称）設置に伴う装備資器材等を整備
- 会場周辺、主要エリア等の安全対策のための警備用資器材や活動拠点等を整備

新規

### ● 交通環境の整備等

新規

#### ● 道路環境の整備〔677.0百万円〕

万博開催期間中のアクセスルートにおける、安全・円滑な移動のための環境整備として、路面標示・舗装の補修を実施

#### ● ライドシェアの推進〔39.1百万円〕

万博時の交通需要やインバウンド需要の増加などに対応し、府民や観光客の交通手段を確保するため、2024年秋までに大阪でのライドシェア制度運用開始に向けた、安全性確保の仕組みなどの環境整備を行う



路面標示・舗装の補修（例）

### ● 医療・衛生体制の強化

新規

#### ● 医療体制の強化・感染症対策〔16.2百万円〕

- 外国人患者との円滑なコミュニケーションを図るため、医療機関向けにビデオ通話とフランス語を加えた8か国語の通訳コールセンターの設置
- 「大阪・関西万博感染症情報解析センター」を設置（2025年1月予定）し、感染症のまん延防止に取り組む

#### ● 食品の衛生対策〔3.0百万円〕

食中毒等を防止するため、事業者の衛生管理の強化に向けた講習会の開催や、ピクトグラム・多言語化による外国人含む観光客への食物アレルギー対応を推進

# 万博をインパクトにした大阪の成長・都市格の向上

## 取組の方向性

- ◆ 大阪の成長・発展に向け、府市一体の成長戦略のもと、大阪経済をけん引する産業やイノベーションを創出
- ◆ 成長の源泉は「人」の力。人手不足対応・人材育成や、授業料等完全無償化など次世代への投資を強化
- ◆ 世界中から人や投資を呼び込むため、大阪の魅力発信や都市基盤整備、さらには、IR、国際金融都市OSAKAの実現など新たな成長の柱となる取組みを進め、都市間競争に打ち勝つ都市格の向上・形成

### 万博をイパ<sup>o</sup>外にした成長

- 成長産業の創出・育成
  - ✓ ライフサイエンス
  - ✓ スタートアップ
  - ✓ 空飛ぶクルマ
  - ✓ カーボンニュートラル
- 人材育成・次世代への投資
  - ✓ 人手不足対応・人材育成
  - ✓ 授業料等完全無償化

### 都市格の向上

- 都市の魅力発信
  - ✓ 観光・ビジネスの発信  
(文化・芸術、スポーツ等)
  - ✓ 大阪への集客・府内周遊  
(大阪来てな！キャンペーン等)
- 成長を支える基盤整備
  - ✓ まちづくりの推進  
(新大阪駅前、大阪城東部等)
  - ✓ 道路・鉄道ネットワーク  
(淀川左岸線(2期)、なにわ筋線等)

### 新たな成長の柱

- IRの実現  
(IR事業化、府民理解の促進、  
ギャンブル等依存症対策)
- 国際金融都市の実現  
(情報発信・プロモーション、ワンストップ窓口、  
金融系外国企業等の進出支援、  
地方税減税制度等)

万博をインパクトに、持続的に成長する大阪を実現

## 健康・医療関連産業のリーディング産業化

### ● 「中之島 Qross」における再生医療の実用化・産業化の加速〔335.6百万円〕

新規

再生医療の実用化・産業化を加速させるため、2024年開業予定の「中之島 Qross」（大阪市）において、医療機関、企業、スタートアップ、支援機関等の交流・共創を促進するとともに、再生医療の情報発信等を実施

Nakanoshima Qross



中之島 Qross（イメージ）  
（出典）一般財団法人未来医療推進機構HP

#### ● 「交流・共創・発信」の推進

リーディングプロジェクト創出に向けた支援や中之島 Qrossのポテンシャルを実感してもらうための拠点ツアー、「未来の医療プレEXPO」の実施等に取り組む

#### ● スタートアップの成長支援

新たな共同研究を進めるにあたり必要な実行可能性の調査・資金調達等に係る経費を支援

#### ● 拠点の整備・活用

公的な機能として設置する、「交流・共創・発信」の場の整備に対して補助

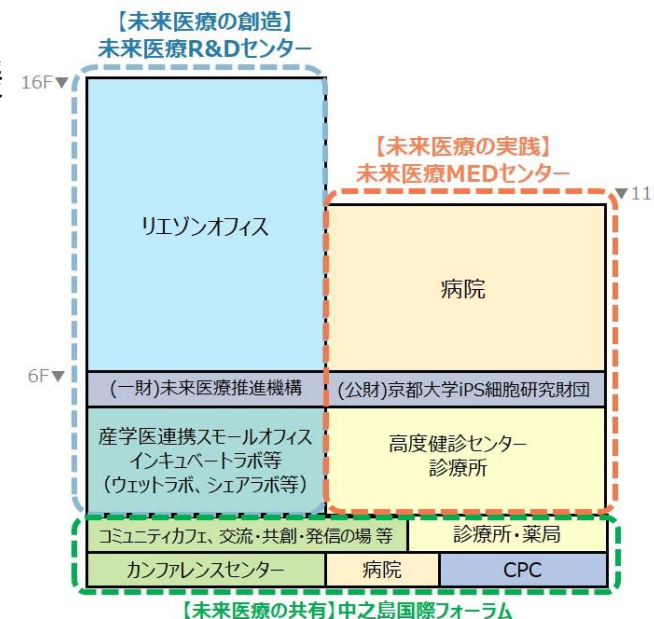
### ● 健都・彩都における取組み推進〔19.9百万円〕

#### ● 健都における社会実装の促進

ヘルスケア関連の革新的技術・サービスの展示等を行う「健都万博（仮称）」の開催（2025年度予定）に向けた企画・検討や住民参加型の技術体験会等を先行実施

#### ● 彩都における創薬拠点の維持・向上

上場企業等を輩出してきた「彩都バイオイノベーションセンター」の運営への補助



中之島 Qrossの機能（イメージ）

## スタートアップ・エコシステムの推進

### ● ディープテックの成長支援〔52.6百万円〕

新規

万博会場内で開催される「Global Startup EXPO2025」及び2024年の関連イベント開催を契機に、ビジネスチャンスを拡大し、万博後の持続的な成長につなげていくため、研究開発型スタートアップ（＝「ディープテック」）を支援

#### ● ネットワークの形成

ディープテック支援に長けた首都圏人材の活用によるトータルな視点に立った伴走支援

#### ● プロモーションの強化

首都圏の支援関係者と大阪のディープテック・大学発シーズとの接点創出、交流促進により首都圏への情報発信を強化

### ● ライフサイエンス分野のスタートアップ支援〔25.7百万円〕

#### ● ライフサイエンス産業の振興

兵庫・大阪両府県の大学や研究機関の研究者の事業化意欲を喚起する勉強会、事業者とのマッチングイベント

#### ● 中之島 Grossにおけるスタートアップの成長支援（再掲）

### ● 次世代スマートヘルススタートアップの創出〔60.3百万円〕

新規

治療・予防アプリなど次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援として、スタートアップを発掘し、社会実装に向けた伴走支援や万博での発信等に取り組む



## 空飛ぶクルマの実用化〔392.8百万円〕

### 〔万博での運航実現に向けた取組み〕

- 離着陸場整備への支援

万博とその後の活用も見据え、離着陸場等を整備する事業者に対し、必要な費用（設計・建設等）を補助（補助率 1/2以内、補助上限 4,000万円、補助件数 5事業程度）

- 飛行実証などビジネス化準備への支援

事業者が実施する飛行実証等、万博に向けたビジネス化の準備に必要な費用を補助（補助率 1/2以内、補助上限 3,000万円、補助件数 4事業程度）

- 社会受容性の向上に向けた取組み

2030年代に社会を担う若年層を中心に、有用性の理解促進や新たな価値創造を体感できるイベント等を実施

### 〔万博後のビジネス化に向けた取組み〕

- ビジネス拠点創出に向けた支援

事業者向けに、より具体的に離着陸場を活用したビジネスの検討を行うためのセミナー・個別相談会を実施するとともに、運航拠点の整備構想を策定する事業者に対して、必要な費用の補助等を行う

2025年大阪・関西万博での  
空飛ぶクルマの商用運航の実現と  
その先のビジネス化をめざす

2024年度

ビジネス開発・実証

2025年度

事業立ち上げ

～2030年度

事業拡大

離着陸場整備・飛行実証など実証実験等への支援  
社会受容性向上に資する取組み など

より高度な技術を用いた実証実験等  
の取組みを後押し



2023年度採択事業 試験飛行見学会

## カーボンニュートラルの実現

### 〔技術革新等〕

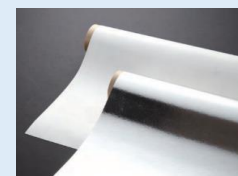
- **カーボンニュートラルの技術開発・実証**〔800.1百万円〕  
カーボンニュートラルに資する最先端技術の実証・実装をめざし、試作設計や開発・実証を行う事業者に対し、必要となる費用を補助（企業版ふるさと納税を活用）
  - ・ 補助率 | 2/3以内
  - ・ 補助上限 | 15,000万円

- **ブルーカーボン生態系の創出**〔29.3百万円〕 **新規**  
大阪湾（万博会場周辺海域）におけるブルーカーボン生態系の再生・創出に向け、府内企業や藻場創出技術を有するメーカー等による藻場創出に必要な費用を補助
  - ・ 補助率 | 1/2以内
  - ・ 補助上限 | 500万円

### 〔府民の行動変容〕

- **脱炭素貢献量の可視化による府民の参加促進**〔45.9百万円〕 **新規**  
府民の脱炭素行動を後押しするため、CO<sub>2</sub>削減量を可視化するアプリの利用促進イベント等を実施するとともに、府域全体での取組みの進捗をグラフ等により可視化

### 放射冷却素材の建築物適用技術 ＜省エネルギー分野＞



放射冷却素材



建築物の屋根に導入

（2023年度 選定事業例）



海草藻場  
（アマモ等）



海藻藻場  
（コンブ、ガラモ等）

ブルーカーボン生態系の例



CO<sub>2</sub>削減量を可視化するアプリ例

## 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現

### ● バイオプラスチックビジネスの推進〔40.7百万円〕

バイオプラスチック製品のビジネス化を図るため、府内中小企業とプラスチック利活用企業等をマッチングするとともに、製品開発に向けたプロジェクト組成を支援し、開発に必要な費用を補助

- ・ 補助率 | 1/2以内
- ・ 補助上限 | 300万円/件（複数の府内中小企業等による場合 500万円）

バイオプラスチックを活用した無針注射器の開発  
（狙い：大量廃棄による環境負荷の低減）



（2023年度 選定事業 例）

### 新たな成長分野の推進〔35.0百万円〕

食、アート、スポーツなど成長可能性の高い分野を対象に大阪の成長に向けたモデル事業等の実施

（展開例）

- **大阪の食の魅力を活用した海外の富裕層等の呼び込みにつなげる取組み**  
泉州・南河内地域を対象に、ガストロノミーツーリズムのビジネス化を推進
- **国内外から注目されるアートに関する検討**  
国内外から注目されるアートフェアなど、民間と連携し、大阪の成長につながる企画内容を検討
- **eスポーツの強みである若者世代へ訴求した活用方策の検討**  
若者から人気のあるアーバンスポーツとeスポーツの連携を検討し、府域での地域活性化を図る

## 中小企業等のビジネスチャンス拡大に向けた取組み

### ● 海外企業等とのビジネス交流の創出〔27.3百万円〕

新規

- ビジネス交流にかかる海外からの問い合わせ対応のため、「大阪海外ビジネスワンストップ窓口（仮称）」を設置
- 海外企業等の大阪・関西への呼び込みに向けて、ビジネス情報等を取りまとめたPRツールを作成

### ● ものづくり中小企業の強みを活かした取組み支援〔5.8百万円〕

新規

府内ものづくり中小企業の工場視察受入情報等を集約し、海外ビジネスミッション団等と工場視察受入企業を「大阪海外ビジネスワンストップ窓口（仮称）」と連携してマッチングするコンシェルジュ機能をMOBIOに設置

### ● 大阪代表商品の販売促進〔9.3百万円〕

新規

多くの観光客等が来訪する万博をビジネスチャンスととらえ、府内の食品・雑貨等製造や卸小売りの中小企業、小規模事業者の商品を売り込むため、売れる商品への磨き上げ支援と販売の場づくりを実施

- ・ 2024年度 | 売れる商品としての磨き上げ、地域代表商品〈500品以上〉や、大阪代表商品〈50品程度〉を選考
- ・ 2025年度 | 府内の主要駅や空港内等で販売の場づくりを実施し、参加事業者へ提供

## 人手不足(2024年問題等)への対応

新規

### ● 運輸・建設業関連への支援〔637.9百万円の内数〕 ※新事業展開テイクオフ支援事業とスキルアップ（資格取得）支援事業の事業費合計

人手不足が深刻化する運輸・建設業において、人材確保を目的とする事業者の新事業展開や離職者等の資格取得費用を補助

（新事業展開に係る補助）

運輸・建設事業者の経営改善やビジネスモデル転換を図る経費に対し補助し、特に人材確保に向けた取組みを行う事業者については、補助額を引き上げ

- ・ 補助額・対象 | 3/4（補助上限100万円）・300事業者程度（運輸・建設業関連以外の業種についても、300事業者の対象）  
人材確保により取組む50事業者に対して、最大50万円を上乗せ補助（補助率3/4以内）

（資格取得等に係る補助）

離職後1年を超える方等のうち運輸・建設業関連の資格取得に必要な費用を補助

- ・ 補助額 | 3/4（補助上限なし） ※運輸・建設業関連以外の資格取得の費用は、補助率1/2（補助上限20万円）
- ・ 対象講座 | 大型自動車第一種免許、フォークリフト運転技能講習等

### ● 路線バス事業者への支援〔40.1百万円〕

担い手不足が深刻化している路線バスの運転手等を確保し、路線の維持に取り組むバス事業者を支援するため、新規採用ドライバーの2種免許取得費用や人材確保セミナーの開催等の広報費、ドライバーの研修費用を補助

- ・ 補助額 | 1/2（補助上限なし）

### ● 介護サービス事業者への支援〔28.9百万円〕

介護従事者の負担軽減等の職場環境改善等につながる介護ロボット・ICTの導入等に係る相談窓口・研修実施等を行う「大阪府介護生産性向上総合相談センター（仮称）」を設置



## 人材の育成

### ● 特設サイト「にであう」の運営〔17.4百万円〕

求職者・在職者のリスキングを後押し、働く人のスキルアップとマッチングを支援するため、ホームページ「にであう」を通じて情報提供

### ● リスキングのサポート〔12.7百万円〕

新規

相談者に合わせて最適なリスキングのアドバイスをオンラインで行うとともに、チャットボットによる24時間相談対応、啓発セミナーの実施や講座・助成金等の情報をオンライン上で提供

### ● DXスキルのサポート〔5.5百万円〕

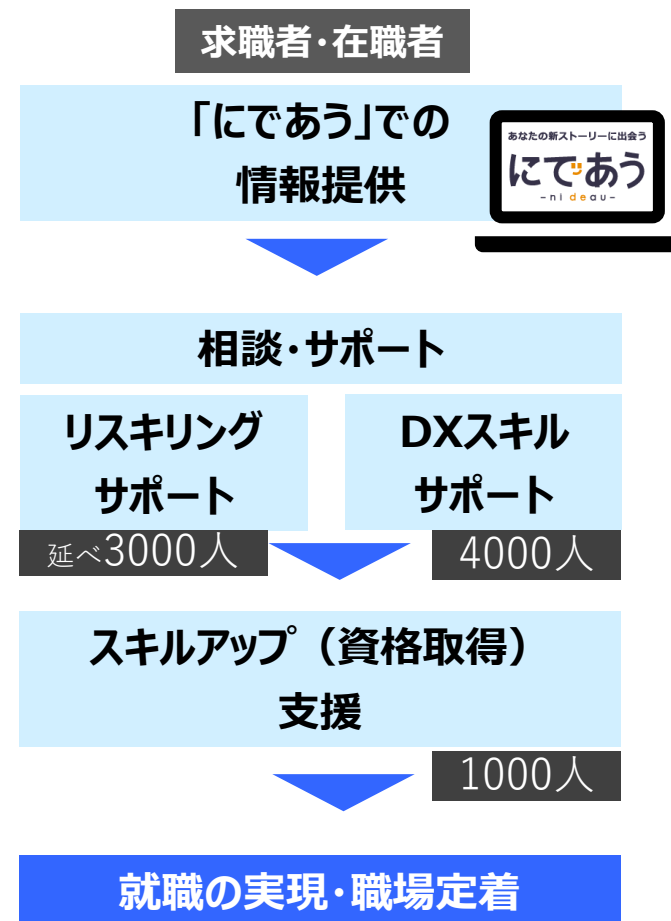
DXに関する相談対応をAIチャットボットで実施するとともに、連携企業（OSAKA若者リ・スキング・パートナーズ）の協力によりオンライントレーニングを提供

### ● スキルアップ（資格取得）支援〔191.2百万円〕

離職後1年を超える方等に対し、資格取得に必要な費用を補助

- ・ 補助率 | 1/2（補助上限20万円）
- ・ 対象講座 | ITパスポート、簿記、WEBデザイナー、FP等

※運輸・建設業関連資格は、補助率3/4（補助上限なし）（再掲）



## 多様な人材の活躍・環境整備等

### ● 外国人材の受入支援〔107.2百万円〕

府内産業のさらなる成長につなげていくとともに、深刻な人手不足の解消を図るための取組みを実施

#### ● 外国人留学生等のマッチング支援

府内企業とのマッチング機会を提供するとともに、採用後の職場定着に向けたフォローアップを実施

#### ● 外国人材へのアプローチ

人手不足が顕著であり、即戦力として活躍が期待できる分野を中心に受入れを促進するため、大阪産業局が設置する海外拠点を活用した情報発信等を通じ、府内企業の現地人材へのアプローチを支援

### ● 新たな働き方の促進〔37.3百万円〕

新規

スポットワーク（雇用型ギグワーク）などの新たな働き方に対する求職者ニーズの高まりを、企業の人手不足の解消につなげるため、多様な人材活用を促進する「業務改善コンサルタント」を大阪産業局に配置

## 高校や大阪公立大学等の授業料無償化

新規

### ● 高等学校等の授業料無償化〔57,326.9百万円〕 ※うち、一般財源 22,863.6百万円

高校等の授業料について、公・私立とも、所得や世帯の子どもの人数に制限なく完全無償化

- 対象 | 府立高校、府内国・市立高校等、大阪公立大学工業高等専門学校(本科1～3年生)、府外国公立高校等(近畿1府4県)、私立の高校・専修学校・各種学校に通う府民  
※私立高校等は就学支援推進校が無償化の対象

2024年度の近畿2府4県の就学支援推進校の指定状況（2024年2月13日時点）

	大阪府	滋賀県	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県
全日制高校	94校	0校	1校	2校	2校	8校
通信制高校	10校	1校	1校	1校	0校	2校
専修・各種学校	27校	0校	1校	2校	1校	2校

※府内の高校等の教育活動等を寄附を通じて支援する「**母校応援ふるさと納税制度**」を創設

- ・2024年4月～私立高校等を寄附対象に追加、2025年4月～寄附を活用して学校を支援
- ・対象校 | 府立高校等・府内の私立高校、専修学校(高等課程)、各種学校(就学支援金対象校のみ)

### ● 大阪公立大学等の授業料等無償化〔2,516.9百万円〕

大阪公立大学等の授業料・入学料について、所得や世帯の子どもの人数に制限なく完全無償化

- 対象 | 大阪公立大学・大学院・法科大学院、大阪公立大学工業高等専門学校(本科4～5年生・専攻科1～2年生)等に通う府民

無償化制度の経過措置  
(高校・大学・大学院のイメージ)

#### 2024年度

対象  
高校 3年生  
大学 4年生  
大学院 2年生

#### 2025年度

対象  
高校 2・3年生  
大学 2～4年生  
大学院 1・2年生

#### 2026年度

対象  
高校 1～3年生  
大学 1～4年生  
大学院 1・2年生

※大学・高校ともに、2024年度から段階的に所得制限を撤廃



## 大阪の観光・ビジネスコンテンツの発信（1/2）

### 〔文化芸術〕

#### ● 文化芸術の活性化・魅力発信〔534.0百万円〕

万博開催時に国内外の来訪者に大阪の文化芸術を楽しんでいただくため、「大阪国際文化芸術プロジェクト」として、伝統芸能や音楽、アートなど様々なプログラムを展開するとともに、市町村等と連携し、府内各地の文化資源を活用した文化芸術プログラムを実施

#### ● 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」のPR〔21.0百万円〕

新規

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を発信し、実感いただくため、普段見ることのできない上空からのリアルな古墳群全貌や歴史背景などを理解して来訪を促す、VR技術等を活用した「体験型コンテンツ」を制作（制作した「体験型コンテンツ」は万博会場等での活用を想定）

#### ● オオサカアートビレッジの実施〔46.1百万円〕

新規

大阪におけるアート活動の機運醸成を図るため、万博会場から目視可能な咲洲庁舎の外壁を活用した大規模な光のデジタルアートを展開

#### ● 府所蔵美術作品の活用〔31.3百万円〕

新規

所蔵美術作品（約7,900点）について、府民に身近な場所での鑑賞機会の提供、観光資源としての活用を図るため、府内各地に展示

#### ● 万博記念公園における1970年大阪万博の魅力発信〔72.7百万円〕

2025年と1970年の万博を結ぶ取り組みを実施

（1970年万博の体験VR等の制作、万博公園の大阪万博レガシーを巡るツアー等の開催）



大阪のオーケストラの公演  
（大阪国際文化芸術プロジェクト）



仁徳天皇陵古墳



外壁を活用したデジタルアート  
（イメージ）

## 大阪の観光・ビジネスコンテンツの発信（2/2）

### 〔文化芸術〕

#### ● 水と光を活かした景観の創出〔483.1百万円〕

万博開催時に水都大阪の魅力を国内外に向けて発信するため、万博会場と大阪市内を結ぶ舟運ルート沿いに、新たな観光スポットとなる、ウォーターショーなど、水と光を活かしたコンテンツを制作

### 〔スポーツ〕

#### ● スポーツツーリズムの推進〔58.6百万円〕

万博を契機として、多くの人を呼び込むスポーツツーリズムを推進するため、アーバンスポーツ（BMX・ブレイキン等）のデモンストレーションやバーチャルスポーツ等の体験コンテンツを展開する「大阪いのち輝くスポーツプロジェクト（OSAKA NEXPO2024）」等を実施

### 〔ビジネス〕

#### ● 海外向けビジネスの魅力発信〔24.3百万円〕

新規

府専用ウェブサイトのコンテンツの充実、SNS等の積極的な活用を通じて、ビジネス関連情報や都市のプレゼンスを高める情報を効果的に発信し、企業進出、投資、ビジネスマッチングにつなげていく



ウォーターショー（イメージ）



一流選手によるBMXのショー（イメージ）



## 大阪への集客・府内周遊の促進

### ● 「大阪来てな！キャンペーン」の実施〔300.0百万円〕

2025年大阪・関西万博に向け、大阪への集客・府内周遊を促進するため、「大阪来てな！キャンペーン」として、大阪市内及び府内各地（北摂・河内・泉州）の観光スポットで、市町村等と連携しながら、大阪の魅力を体験できるイベントと、府内を楽しみながら周遊できる仕掛けを組み合わせ実施



大阪来てな！キャンペーン  
ロゴマーク

### ● 大阪デスティネーションキャンペーンの推進〔45.3百万円〕

万博開催に合わせた全国規模の観光キャンペーンの展開に向け、2024年度は「大阪デスティネーションキャンペーンプレキャンペーン」として、JR西日本管内でのプロモーションや観光事業者対象の体験型視察旅行等を開催



大阪デスティネーションキャンペーン  
ロゴマーク

### ● 観光コンテンツ等のプロモーション〔5.6百万円〕

万博来訪者の兵庫・大阪における滞在・周遊を促進するため、2023年度に造成した、文化芸術・ものづくり・食などの体験が楽しめる観光コンテンツ・広域周遊モデルコースをさらに磨き上げるとともに、海外インフルエンサーによる魅力発信など、インバウンドに向けたプロモーションを実施

（2023年度に造成した大阪の観光コンテンツの例）

中之島美術館「モネ展」プライベートナイトミュージアム（大阪市内）、大阪で温泉+日本文化体験（南河内）等



## 新たな観光ルートへの整備

### ● 中之島GATEターミナルの整備〔480.0百万円〕

海に囲まれた万博会場の立地を最大限に活かして、水辺のにぎわいづくりを推進するため、海と川の結節点にある「中之島GATEターミナル」の万博開幕までの開業をめざし、船着場の整備工事を実施

### ● 舟運ルートの発掘・創出〔12.2百万円〕

兵庫・大阪間や万博会場と泉州地域を結ぶ水上交通ネットワークの構築に向けた取組みを進める

- 兵庫・大阪間の海上交通を利用した旅行商品の開発、メディア等向けツアー、PR動画の制作等実施
- 海上交通の実施に必要な、堺旧港における仮設浮棧橋の設置等の環境整備を実施

## 観光客の快適性向上に向けた環境整備

新規

### ● Wi-Fi環境の整備〔33.6百万円〕

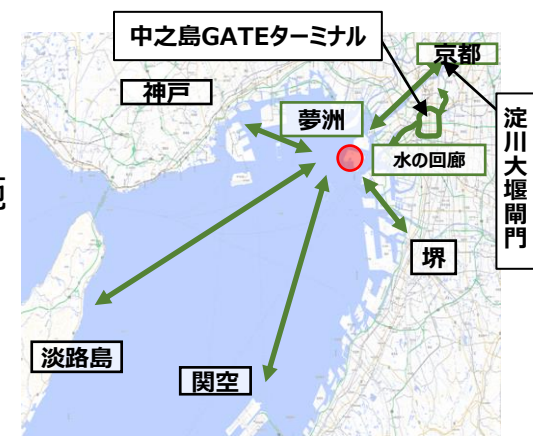
大阪の玄関口である関西国際空港・新大阪駅から万博会場への主要導線となる鉄道駅に、万博会場内でも整備予定の国際的なWi-Fi相互接続基盤（Open Roaming）に対応したWi-Fiスポットを整備（整備対象予定）大阪駅/梅田駅、なんば駅/大阪難波駅、天王寺駅、堺駅等

### ● 視覚障害者用付加装置の設置〔119.7百万円〕

視覚障がい者、高齢者等に安全・安心な移動環境を提供するため、視覚障害者用付加装置を設置（設置目標）2025年度までに60基程度



中之島GATEターミナル（イメージ）



- ・船着場周辺の賑わい創出
- ・地域資源を活かした内陸部への周遊



信号柱等設置型

## 大阪のまちづくりの推進

### ● 新大阪駅前

- ・ リニア・北陸新幹線の開業を見据え、国の「都市再生緊急整備地域」指定（2022年10月）
- ・ 世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現をめざし、具体化に向けた検討調査を実施



新大阪駅周辺のまちづくり エリア図

### ● うめきた2期

- ・ 「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の形成
- ・ 基盤整備（土地区画整理、公園整備）を推進



うめきた公園の完成イメージ  
(提供：グラングリーン大阪開発事業者)

### ● 夢洲

- ・ 夢洲第2期のまちづくりに向けた検討  
夢洲第2期マスタープラン案の提案募集(2024年夏頃～)

### ● 大阪城東部

#### ● 大阪公立大学新キャンパスの整備

- ・ 森之宮キャンパスの学舎整備（2025年秋の開設）



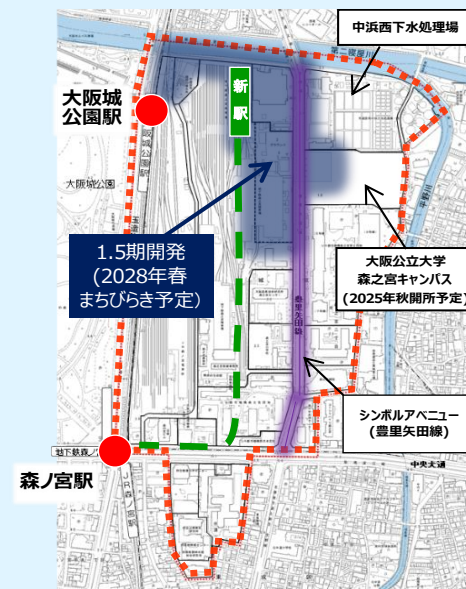
森之宮キャンパス完成イメージ  
(大阪公立大学HP)

#### ● 大阪城公園接続デッキの整備

- ・ 第二寝屋川の水辺の歩行者空間、大阪城公園駅をつなぐ歩行者デッキの設計を実施

#### ● まちづくり検討調査

- ・ 1.5期の2028年春のまちびらきをめざし、森之宮1.5期キャンパスの整備、（仮称）森之宮新駅・駅ビル、アリーナ・ホールの整備を推進（2024年度事業者公募予定）



## 道路・鉄道ネットワークの整備

### 道路

- **淀川左岸線（2期）の整備**〔7.0百万円〕  
大阪都市再生環状道路の一部の形成、万博では、シャトルバスルートとして暫定利用  
・ 区間 | 海老江ジャンクション ~ (仮称) 豊崎出入口 ・ 完成予定 | 2032年度
- **淀川左岸線 延伸部の整備**〔200.0百万円〕  
大阪都市再生環状道路の一部の形成  
・ 区間 | (仮称) 豊崎出入口 ~ 門真ジャンクション

### 鉄道

- **なにわ筋線の整備**〔5,881.8百万円〕  
新大阪や大阪都心部と関西国際空港や大阪南部地域とのアクセス強化  
・ 区間 | 大阪駅 (うめきたエリア) ~ JR難波駅・南海新今宮駅  
・ 開業目標 | 2030年度末
- **大阪モノレールの延伸**〔10,668.8百万円〕  
放射状に形成された鉄道を環状方向に結節し、広域的な鉄道ネットワークを形成  
・ 区間 | 門真市駅 ~ (仮称) 瓜生堂駅 ・ 開業目標 | 2029年
- **北大阪急行延伸**  
千里中央駅 ~ 箕面萱野駅の延伸は2024年3月23日開業予定



大阪モノレール延伸



# IRの開業、国際金融都市の推進、副首都・大阪の実現

## IRの推進〔109.9百万円〕

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRを核とした国際観光拠点の形成に向け、府市が一体となり取組みを進めるとともに、府民理解の促進やギャンブル等依存症対策などIR立地にとまなう懸念事項の対策を実施（2030年秋頃開業予定）

- **IR事業化の推進**  
区域整備計画に基づき、IR実現に向けた取組みを進める
- **府民理解の促進**  
効果的な情報発信など、府民理解の促進に取り組む
- **ギャンブル等依存症対策の推進**  
IR事業者を求めるギャンブル等依存症対策の具体的運用等について検討を進める

※府民向け  
ギャンブル等依存症などの防止・回復に必要な対策、本人とその家族の日常生活支援等  
〔122.1百万円〕



提供：大阪IR株式会社

## 国際金融都市の推進〔229.1百万円〕

世界中から人材や投資を大阪に呼び込み、大阪の成長を図るため、国際金融都市の実現に向けて官民一体の取組みを推進

- **情報発信・プロモーション**
    - ・ポータルサイト・SNSを活用した情報発信
    - ・知事・市長によるトッププロモーション等
  - **ワンストップ窓口の運営**  
金融に精通した専門コンサルタントが進出に必要な相談に対応
  - **金融系外国企業等の進出支援**
    - ・金融系外国企業等への個別アプローチやビジネスマッチング支援
    - ・大阪進出済企業と在阪企業等との協業に向けた取組み
    - ・進出に係る初期費用等の補助等
- ※大阪進出のインセンティブとして地方税軽減制度を2023年11月～導入

## 副首都・大阪の実現〔15.9百万円〕

副首都ビジョンを指針として、府市一体を核に「都市機能の充実」「行政体制の整備」「経済面の政策」を推進し、オール大阪で副首都・大阪を実現し、「東西二極の一極、さらに複数の都市が日本の成長をけん引する新たな国の形」を先導

# 安全・安心で豊かなくらしの実現

## 取組の方向性

- ◆ 多発する自然災害や今般の能登半島地震を踏まえ、南海トラフ巨大地震等に備えた災害対応力の強化を大阪全体で推進
- ◆ 長引く物価高騰への対策や、新型コロナを踏まえた新たな感染症への対応など、府民のくらし・いのち・健康を守るセーフティネット対策を充実
- ◆ 年々増加する不登校児童・生徒への対策や教育環境の整備など、子どもたちの成長と学びを支える取組みを強化

### 災害対応力の強化

#### ■災害対応力の強化

- ✓ 能登半島地震を踏まえた対策  
(洋式水洗トイレ等)
- ✓ 地震・津波の被害想定の見直し
- ✓ 防災機能の強化  
(広域防災機能の充実等)
- ✓ 消防の広域化



### いのち・健康・くらし

#### ■物価高騰対策

#### ■いのち・健康

- ✓ 感染症対策の強化
- ✓ こども、高齢者、障がい者に対する支援  
(母子Cの整備、認知症施策等)

#### ■くらしの向上

- ✓ DXを活用した利便性の向上  
(高校入学者選抜デジタル採点等)
- ✓ スマートモビリティ  
(自動運転バス)



### 成長と学びを支える

#### ■不登校児童等への支援

- ✓ 相談体制の充実  
(スクールカウンセラー等の配置)
- ✓ 学びの多様化学校の調査研究

#### ■教育環境の充実

- ✓ 府立高校の再編整備  
(工科高校の再編等)
- ✓ 知的障がい支援学校の新校整備  
(出来島支援学校の開校等)

誰もが安全に安心して暮らせる社会の実現



## 能登半島地震を踏まえた対策〔184.2百万円〕

新規

※2月7日公表済み

### ● 組立式洋式水洗トイレの導入

災害時に断水のため水洗トイレが使えなくなることによる衛生環境の悪化を防ぐため、現在備蓄している「洋式・非水洗」タイプに加えて、「洋式・水洗」タイプを2024年度～2026年度で2,300基（府内一般避難所毎に1基）整備予定

### ● トイレトレーラーの導入

府内での発災時や被災地支援に利用するため、新たに、トイレトレーラーを1台導入



トイレトレーラー  
(箕面市ホームページより)



山梨県北杜市  
トイレトレーラーの内部  
(北杜市ホームページより)

## 地震・津波の被害想定の見直し〔50.3百万円〕

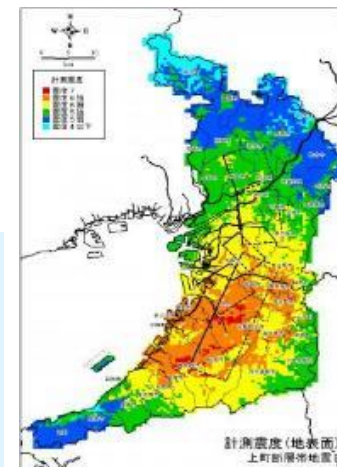
これまでの地震津波対策、国の検討状況、人口・世帯構成の変化等を踏まえ、地震・津波の被害想定の見直しを進め、次期アクションプランに反映

### 被害想定公表予定

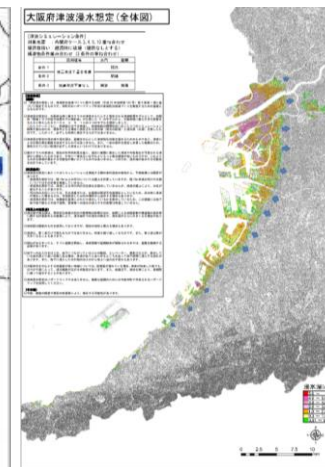
- ・南海トラフ巨大地震 | 2024年度末
- ・直下型地震 | 2025年度下半期

### 次期アクションプランに反映

(現計画(新・大阪府地震防災アクションプラン)期間 2024年度まで)



地震動予測結果



津波浸水想定図

(大阪府ホームページより)

## 防災機能の充実強化

### ● 広域防災機能の充実強化〔50.6百万円〕

支援物資を効率的に搬出するため、南部拠点（泉南市りんくう）の保管レイアウトの変更、垂直搬送機や遠隔監視カメラの設置に向けた設計等を実施（2024年度に、中部拠点に垂直搬送機、全拠点に遠隔監視カメラを設置予定）



垂直搬送機設置

### ● 大阪府衛星無線等の再整備〔59.3百万円〕

新規

府と市町村等の防災関係機関との情報連絡として使用している現行の衛星無線の運用終了に伴い、以前より電波が繋がりやすい2026年度の次世代機の運用開始に向けた整備（衛星無線設備再整備124ヶ所）（2024年度事業着手、2025年度工事完成予定）

### ● 消防用ヘリコプターの整備強化〔245.5百万円〕

災害時の緊急消防援助隊の受入体制強化のため、消防用ヘリコプターの格納庫等の建替えや緊急消防援助隊の受入可能な宿泊場所の整備等（2023年度工事開始、2026年度完成予定）



消防ヘリコプター（「なにわ号」）

### ● 消防の広域化〔13.9百万円〕

新規

住民サービスの向上などに資する消防の広域化のさらなる推進に向けて、「大阪府消防広域化推進計画」の見直しに必要な調査を実施（調査項目） 消防需要の将来推計、消防の一元化シミュレーション など

## 物価高騰の影響を受ける府民への支援



子ども食費支援事業  
(写真は第2弾のもの)

### 府民向け

- **子ども食費支援（第3弾）〔7,529.5百万円〕**  
米またはその他の食料品に加えて、被災地支援として、石川県産品（お米や食料品）の追加を調整中  
・対象 | 18歳以下の子ども（2024年6月頃から実施予定）  
（1人あたり5,000円相当） ※2月7日公表済み
- **子ども食堂への支援〔394.3百万円〕**  
子ども食堂の取組みを支援するため、子ども食堂に対し、米、缶詰、レトルト食品等の食品セットを配付  
・対象 | 府内の子ども食堂（2024年6月から配付予定）
- **LPガス利用者への支援〔819.0百万円〕**  
LPガス販売事業者を通じて1契約につき3,000円を上限に支援
- **学校給食費の支援〔654.6百万円〕**  
府立学校に通う幼児児童生徒の学校給食費を無償化  
・対象 | 給食を実施している府立学校41校  
（支援学校、中学校、高校定時制）  
・期間 | 2024年4月～2025年3月
- **奨学金返還への支援〔1,043.7百万円〕**  
奨学金を返還しながら働く若者の負担軽減とともに、府内中小企業等における人材確保・定着につなげるため、奨学金返還支援制度の導入を促進  
・目標導入企業 | 2,000社  
・支援金額 | 大阪府育英会（高校等）を対象に導入…30万円/社（定額）  
上記に加え、日本学生支援機構（大学等）を対象に導入…加算金20万円/社（定額）

### 事業者向け

- **高効率空調機の導入支援〔703.2百万円〕**  
脱炭素化促進と光熱費削減による経営力強化のため、中小企業の高効率空調機の導入費用を補助  
・対象経費 | 中小企業の高効率空調機の導入費用  
・補助率 | 1/2以内（補助上限1,500万円）
- **特別高圧電力契約者等への支援〔441.6百万円〕**  
中小企業が負担する特別高圧の電気料金の一部を支援  
・対象者 | 特別高圧で受電している中小企業  
・支援単価 | 1.8円/kWh
- **飼料価格への支援〔25.2百万円〕**  
畜産農家に対し、飼料価格高騰分の一部を支援  
・支援単価 | 配合飼料8,200円/t  
※価格安定制度で補填できない価格高騰分を一部支援  
粗飼料11,900円/t  
※2020年度と比較した価格高騰分を一部支援



## 感染症対策の強化

### ● 新興感染症対策〔2,427.2百万円〕

新規

新興感染症の発生・まん延時に速やかに対応できるよう、府と協定を締結する医療機関等に対し、病棟のゾーニングや防護具保管庫、検査機器などの施設・設備整備費用を補助

### ● 感染症研究の推進〔334.0百万円〕

万博での感染症対策に寄与する、大阪国際感染症研究センター（大阪公立大学に設置）において、研究力強化を図るBSL3\*感染動物施設を大阪公立大学りんくうキャンパス内に整備（2025年度運用開始予定）

\*BSL3…病原体の危険度に応じて1～4の施設基準が定められ、BSL3は新型コロナウイルスや狂犬病などの重篤な疾病のリスクのある病原体を取り扱うことができる

## 大阪母子医療センターの建替え整備〔255.6百万円〕

周産期・小児の高度医療機能を維持するとともに、感染症対策や災害医療などの機能を拡充した新センターを整備

2024年度～

実施設計



2025年度～

建設工事（予定）



2029年度

新センター完成（予定）



大阪母子医療センター現病院外観  
（同センターHPより）

## 小児医療連携体制・受入体制の構築〔60.1百万円〕

持続可能な小児医療体制を構築するため、小児の入院に必要な情報の共有や小児医療連携体制を検討

- 小児科拠点医療機関等で、医療機関の受入可能情報データベース（空床数等を登録）の運用・検証
- データベースを活用した小児患者の状態に応じた受入可能病院の情報提供 など

## 認知症に関する理解の増進〔1.2百万円〕

認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできるよう、認知症の人にやさしい取組みを行う小売業者、金融機関等の事業所を「認知症サポート事業所」として登録・公表し、簡便に検索できる仕組みの構築等を実施

## 障がい者の地域移行〔33.9百万円〕

新規

障がい者が地域で安心して生活できるよう、支援施設から地域生活への着実な移行や地域生活の継続を支援するため、市町村における相談支援体制の充実や、地域の事業所における地域生活の推進に向けた取組みの支援等を実施

- 相談支援体制の充実 | 施設入所者の地域生活への移行促進のための相談支援ツールの作成等
- 地域生活の推進 | グループホーム等との連携を通じた地域生活に向けた実践を行うモデル事業の実施等

## デジタルサービスによる住民の利便性向上

### ● 府立高校入学者選抜等デジタル化の推進〔38.8百万円〕

受験生の利便性向上や教職員の業務効率化を実現するため、府立学校の入学者選抜におけるオンライン出願や、定期考査・入学者選抜の採点業務のデジタル化を推進



#### ● デジタル採点

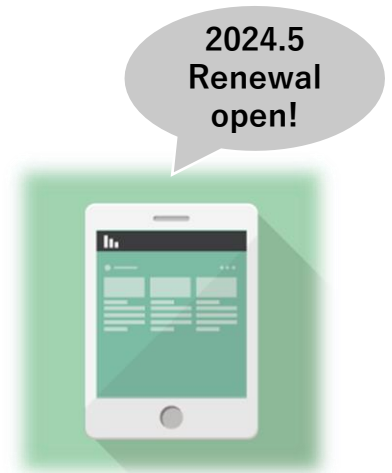
- ・2023年度 | 定期考査 府立高等学校、府立中学校、府立高等支援学校（職業学科設置校）等で導入  
入学者選抜 府立中学校で導入
- ・2024年度 | 入学者選抜 府立高等学校、府立高等支援学校（職業学科設置校）に拡大予定

#### ● オンライン出願

- ・2023年度 | 府立中学校、府立夕陽丘高校（音楽科）等で導入
- ・2024年度 | 府立高等学校、府立支援学校高等部等に拡大予定

### ● 大阪府公式Webサイトのリニューアル〔186.6百万円〕

利用者が知りたい情報に簡単にアクセスでき、分かりやすいWebサイトにするため、大阪府公式Webサイトを全面リニューアル（2024年5月～）





# くらしの向上に向けた取り組み

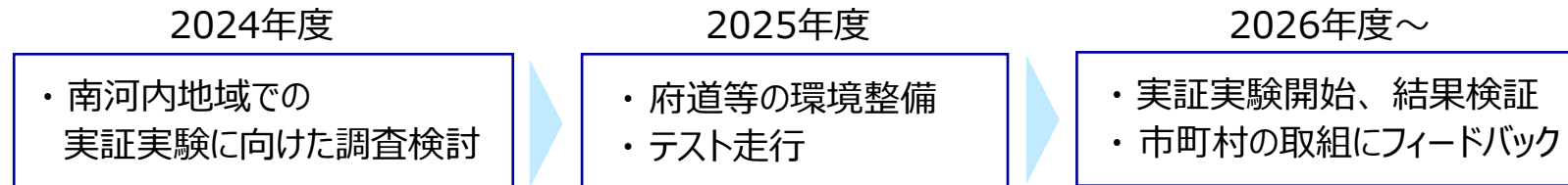
## スマートモビリティの推進

### ● 新モビリティの推進〔36.7百万円〕

新規

交通課題を抱える地域において持続可能な公共交通を確保するため、Osaka Metroが万博で実証実験を行う自動運転バス導入に向けて必要な調査検討（交通需要、輸送需要調査、運行ルートの検討等）を実施

（新モビリティ導入に向けたスケジュール）



Osaka Metroが万博で導入予定の自動運転バス(提供：Osaka Metro)

## 庁内DXの推進

### ● 生成AIの庁内利活用推進〔93.1百万円〕

新規

コスト削減や府民サービスの向上、職員の働き方改革につなげていくため、情報検索や文書作成など、庁内業務で活用できる生成AIを導入

- ・ システムの運用 2024年12月～（予定）

# 子どもたちの成長と学びを支える取組み

## 不登校児童・生徒への包括的な支援の充実

- 小・中学校における不登校対策
  - **スクールカウンセラーの配置**〔604.8百万円〕
    - ・府内の全公立小学校（政令市除く）に、年4回/校から年12回/校配置に拡充
    - ・府内の全公立中学校区（政令市除く）に、年35回/校（月4回程度）配置
- 高校における不登校対策
  - **スクールカウンセラーの配置等**〔56.8百万円〕  
課題を抱える生徒の多数在籍する府立高校に、スクールカウンセラーを年10回/校から年35回/校（月4回程度）配置 等
  - **学びの多様化学校の設置に向けた調査研究**〔3.0百万円〕  
不登校傾向のある生徒に柔軟な学びを提供する「学びの多様化学校」の設置に向けた調査研究を実施

## 府立高校の再編整備・魅力化に向けた取組み

府立高等学校再編整備計画（2023年度から2027年度）等に基づき、教育内容の充実等を進める

- **新しい普通科（学際領域学科・地域社会学科）**〔11.4百万円〕  
特色・魅力あるカリキュラムや教育方法の開発を支援（国へ2校申請予定）
- **ステップスクール（多様な教育実践校）**〔30.1百万円〕  
西成高校及び岬高校を指定（2024年度）し、スクールカウンセラーの常駐や少人数学級等を導入
- **工科高校の統合整備・新校設置**〔25.9百万円〕  
布施工科高校・城東工科高校を統合整備し、新校を設置（2025年度開校予定）

# 子どもたちの成長と学びを支える取組み

## 知的障がい支援学校の新校整備〔537.7百万円〕

知的障がい支援学校の在籍者数の増加に対応し、児童生徒の教育環境を確保するため、新たな支援学校を整備

- **豊能・三島地域** | 豊中市 閉校する学校を活用した新校整備（2028年度開校予定）
- **大阪市内** | 西淀川区 出来島支援学校の開校（2024年度）  
生野区 生野支援学校の大阪わかば高校敷地への移転併設（2027年度開校予定）  
北東部 閉校する学校を活用した新校整備（2028年度開校予定）
- **北河内地域** | 四條畷市 交野支援学校四條畷校の拡充（2029年度開校予定）



出来島支援学校  
(2024年4月開校)

## 子ども・若者等にかかる相談支援体制

### ● 子ども相談〔30.8百万円〕

いじめを含む様々な不安や悩みを持つ子どもが相談しやすい環境を  
通年で整えるため、SNSを活用した「すこやか相談@大阪府」を運営

（対象）小・中・高・支援学校に通学する児童生徒  
（相談日）日～木曜日＋長期休業明け特設日

### ● 児童虐待防止 相談窓口〔61.0百万円〕

児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応を図るため、  
SNSによる相談窓口「親子のための相談LINE」を運営

（対象）大阪府在住の子ども・保護者  
（相談時間）毎日10時～20時

### ● 自殺対策 相談窓口〔25.6百万円〕

若年層（40歳未満）の死因の一位が自殺であることから、  
SNS相談「大阪府こころのほっとライン」を運営

（対象）大学生等、妊産婦（妊娠中及び産後1年未満の方）  
（相談日）3回/週（水土日）＋5・9・3月の指定日

### ● 医療的ケア児 相談支援〔13.6百万円〕

心身の状況等に応じた適切な支援を受けられる総合的な  
相談窓口「大阪府医療的ケア児支援センター」を運営

（対象）大阪府内在住の医療的ケア児・家族等  
（相談時間）月～金の午前9時～午後5時（祝日等除く）

# ① 2025年日本国際博覧会の推進（35,590.7百万円）

※金額は2024年度  
当初予算額（地方負担分）

参考資料

## 日本国際博覧会推進事業（32,726.6百万円）

### 事業内容

■ 会場建設費の負担金 ・博覧会協会が行う会場整備事業に対し、費用を一部負担	26,965.5百万円
■ 大阪ヘルスケアパビリオンの出展に向けた準備 ・パビリオン建築工事 ・最先端の再生医療技術を情報発信する展示制作 ・万博閉幕後のハードレガシーの検討 など	4,008.7百万円
■ 地下鉄の輸送力増強 ・車両置き場や改札機、券売機の増設 など	549.5百万円
■ 機運醸成及び参加促進など ・PR重点期等に応じた、大規模イベントやSNS・メディア等での戦略的な発信 ・ボランティアの募集・面談・研修・活動準備 ・万博会場内での催事実施に向けた企画調整及び準備 ・一般交通への働きかけTDM（交通需要マネジメント） など	1,149.9百万円
■ 賓客の受入れ ・国内外からの賓客に対する接遇実施のための準備	53.0百万円

## 万博の成功に向けた取組み（2,864.1百万円）

### 環境整備等

（2,057.3百万円）

万博の円滑な開催に向けた警備体制や医療・衛生体制の強化、交通環境の整備、中小企業等の参加促進などの事業を実施

- 警備体制の強化（会場警備体制の整備、会場周辺・主要エリア等の安全対策）
- 医療・衛生体制の強化（医療体制の強化・感染症対策、食品の衛生対策）
- 交通環境の整備等（道路環境の整備、ライドシェアの推進）
- 万博商談もずやんモール
- 事業者による万博の脱炭素化の推進 など

### 機運醸成イベント等

（632.0百万円）

万博への大阪の子どもたちの招待、大阪の文化や健康づくり等の万博と関連した様々なイベント等においてPRする事業を実施

- 万博への大阪の子どもたちの招待（府内の小・中・高校生等、府内在住の4・5歳児等の招待）
- ナイトカルチャーの魅力創出（万博開催期間中の御堂筋イルミネーションの点灯に向けた準備）
- ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会 など

### 会場内催事等

（174.8百万円）

万博のインパクトを活かし、様々な個人や団体が会場内において、健康づくりや地元の特産品、芸術作品等を国内外にPRする催事準備などの事業を実施

- 健康寿命延伸に向けた取組み
- 大阪産（もん）の活用拡大支援
- 障がい者舞台芸術・アートの発信 など



## ②関連取組：大阪版万博アクションプラン掲載取組（4,298.2百万円）

※金額は2024年度  
当初予算額（地方負担分）

参考資料

### 万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて（4,298.2百万円）

#### 1. 健康・医療

（612.1百万円）

##### ①ライフサイエンス ②次世代ヘルスケア

- 「中之島 Gross」における再生医療の実用化・産業化の加速  
2024年開業予定の「中之島 Gross」において、入居企業やスタートアップ等の交流・共創を後押しするとともに、再生医療の情報発信等を実施
- 「10歳若返り」の促進  
最新技術などを活用した体験や「いのち輝く未来社会をめざすビジョン」の情報を発信

#### 2. モビリティ

（461.9百万円）

##### ③空飛ぶクルマ ④自動運転 ⑤MaaS ⑥ゼロエミッションモビリティ

- 空飛ぶクルマの実用化  
離着陸場整備や実機による飛行実証などビジネス化準備、社会受容性の向上に向けた支援
- 新モビリティの推進  
新技術を活用した自動運転バス導入に向けて必要な調査検討を実施
- MaaSの促進  
キャッシュレス化に取り組む鉄道事業者への補助

#### 3. 環境

（96.1百万円）

##### ⑦カーボンニュートラル ⑧大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

- ブルーカーボン生態系の創出  
大阪湾（万博会場周辺海域）において、府内企業や藻場創出技術を有するメーカー等による藻場創出に必要な費用を補助
- バイオプラスチックビジネスの推進  
バイオプラスチック製品のビジネス化を図るため、製品開発に向けた支援や開発に必要な費用を補助

#### 4. スマートシティ、スタートアップ

（522.6百万円）

##### ⑨スマートシティ ⑩スタートアップ

- 次世代スマートヘルススタートアップの創出  
治療・予防アプリなど次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援として、スタートアップを発掘し、社会実装に向けた伴走支援や万博での発信等に取り組む
- ディープテックの成長支援  
万博会場内で開催される「Global Startup EXPO2025」を契機に、ビジネスチャンスを拡大し、研究開発型スタートアップを支援

#### 5. 観光・文化、おもてなし

（2,605.5百万円）

##### ⑪多様な都市魅力の創出・発信

- 「大阪来てな！キャンペーン」の実施  
大阪市内及び府内各地の観光スポットで、市町村等と連携しながら、大阪の魅力を体験できるイベントと、府内周遊を促進する仕掛けを組み合わせて実施
- ⑫移動の利便性 ⑬空港運用の強化
- ユニバーサルデザインタクシーの普及促進  
UDタクシーの導入費用を補助





# 兵庫・大阪連携の取組み



参考資料

注：金額は2024年度当初予算案額（取組み項目の総額であり、府県単独の事業費を含む）

## 産業振興

兵庫県：214.4百万円 大阪府：427.2百万円※1

※1:大阪府のスタートアップ関連予算のうち、大阪産業局への交付金は除外

### スタートアップ



- 「スタートアップチャレンジ甲子園」を共同で開催  
(万博関連をテーマにした募集枠の創設を検討)
- GSE※2 関連イベントと連動し、両府県でイベントを開催  
(両府県発のスタートアップの事業化に向けた発表などを検討)

※2:Global Startup EXPO2025

### 空飛ぶクルマ

- 実証実験等への共同補助を実施  
(実機による飛行実証等への補助を想定)
- 両府県で共同イベントを開催
- 離着陸場の整備を促進



(令和5年度共同補助採択事業)

### ライフサイエンス

- 中之島Qrossにおいて、両府県の研究者を対象にした勉強会等を開催
- BIO International Convention2025※3への、共同出展に向けた準備を開始

※3:米国で開催される世界最大のバイオ関連見本市

## 観光振興

兵庫県：27.1百万円 大阪府：17.8百万円

### 観光メニューの充実

- 2023年度に造成した観光コンテンツ・モデルコースを全世界に向けて両府県共同で発信  
(海外インフルエンサーなどによるプロモーションなどを実施)



### 新たな舟運ルートの実現

- 2023年度に造成した舟運ルートについて、旅行会社やメディア向けファムトリップを通じたプロモーションを両府県共同で実施

～万博開催時にめざす姿～  
万博会場を起点に、海上交通を活用した周辺エリアの周遊を実現  
(万博来場者が海上交通プランを利用)



## カーボンニュートラル

兵庫県：607.9百万円 大阪府：1,937.6百万円

### カーボンフットプリントの普及

- カーボンフットプリント (CFP) の算定・表示方法を共通化
- CFP表示をした共同販売イベントを実施

### 大阪ブルーオーシャンビジョン等の推進

- 大阪湾・播磨灘へのプラスチックごみの流入量把握等を実施
- 「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス」を共同設置  
大阪湾MOBAリンク構想の実現にむけて、藻場・干潟の保全・再生・創出を推進

### 水素ステーションの設置促進

- 商用FCトラック向け水素ST調査の実施等
- EV・FCバスの導入を補助  
(大阪府：EV・FCバス、兵庫県：FCバス)

### カーボンニュートラルの技術の開発・支援

- 技術開発・実証への補助やマッチングイベントの開催等の産業化支援を実施